

1. 件名：「日立造船（株）特定兼用キャスクの型式証明申請（Hitz-B69 型）に関するヒアリング【7】」
2. 日時：令和5年6月16日 13時30分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
戸ヶ崎安全規制調整官※、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官
櫻井安全審査官
（核燃料施設審査部門）
甫出安全審査官※

日立造船株式会社：
脱炭素化事業部 プロセス機器ビジネスユニット 原子力機器事業推進室
室長 他6名※
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：
資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（コメント回答）
資料1-2 補足説明資料 16-1 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設
資料1-3 補足説明資料 16-3 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料
資料1-4 補足説明資料 16-4 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 除熱機能に関する説明資料
資料1-5 補足説明資料 16-6 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 材料・構造健全性（長期健全性）に関する説明資料
資料1-6 Hitz-B69型ヒアリングコメント管理票

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:10	本日は、
0:00:20	はい。日立造船の岡田です。それでは資料説明いたします。まず資料の確認ですが、
0:00:26	資料 1-1。
0:00:28	これが設置許可基準規則の適合性について、コメント回答。
0:00:33	資料 1-2。
0:00:35	平賀、補足説明資料 16-1、16 条の燃料体等の取扱設備貯蔵。
0:00:43	資料 1-3、こちらは補足説明資料 16-3、
0:00:48	遮へい機能に関する説明資料、
0:00:51	続きまして資料 1-4、補足説明資料 16-4、
0:00:55	除熱機能に関する説明資料。
0:00:58	資料 1-5。
0:00:59	そちらが、
0:01:03	補足説明資料 16-6、材料経営構造健全性に関する説明資料、
0:01:09	資料 1-6、これはコメントヒアリングコメント管理表となります。
0:01:14	それでは、資料 1-1 の、
0:01:17	コメント回答の方から、ほぼ、
0:01:19	説明させていただきます。
0:01:22	これは資料 1-1 お願いします。
0:01:24	はい。それでは資料 1-1 ですが、
0:01:27	まず最初に審査会合で大きなコメントをいただいているということで、まず最初に、こちらの資料のナンバー9 のコメント回答のNo.9 から 11 について説明させていただきます。
0:01:38	その後、個別の回答とさせていただきます。
0:01:41	それでは、まず、ページの、
0:01:50	20、28 ページ。
0:01:51	から説明させていただきます。
0:01:54	はい。
0:01:56	では、指摘事項No. 19 としまして入力値の誤りについて、誤り及び他に誤りがないか社内の申請書の確認体制も含めて説明することということ。
0:02:07	回答としましては、まずは入力値の誤りということで、説明させていただきます。
0:02:13	対象としましては、型式証明の申請書、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:16	そして、対象箇所につきましてはバスケットに対する津波の影響評価となります。
0:02:22	こちらの 8 件誤りの発見経緯ですが、倉地正明氏申請後、これが補足説明資料の作成の段階で、この羽山
0:02:35	内容としましては、もともとHitz-B69 型のバスケットは、手計算による、
0:02:41	評価で安全性を確認しておりましたが、こちら、そして津波にしたがって伴って作用する加速度、こちら個別に入力
0:02:50	しております。
0:02:51	このHitz-B69 型横置き姿勢で貯蔵するキャスクということで、申請時において、横置きのキャスクに対する津波に伴って作用する加速度の整理が十分できていなかったと。
0:03:02	そして津波に伴って作用する加速度として、キャスク地区方向に 4.5 時、
0:03:07	径方向に 7.5 時、そういう形。
0:03:11	径方向に 7 点。
0:03:12	0 時を想定して、
0:03:14	おりますが、
0:03:16	叩き貯蔵の評価。
0:03:17	これとは考え方が異なる縦置きの水平 2 方向とは異なるということで、
0:03:23	作用する加速度を取り違えて評価しておりました。
0:03:27	それでこの原因につきましては、社内チェックでは、キャスクに作用する加速度評価モデルに基づいて確認したのですが、
0:03:35	そのモデルが簡易的な評価モデル。
0:03:37	であったために、キャスク方向ごとの加速度が明記されておらず、その違いを発見するために至りませんでした。
0:03:44	これの対応としましては、同様の不適合がないか、助けと共同計算書の再チェックを実施いたしました。
0:03:51	この再チェックにおきましては、
0:03:53	動詞の不適合を発見しない、発生しないよう、
0:03:57	評価モデル、こちらの方にもきちんと方向、
0:04:01	ごとの加速度を明記したもので、見直しを行いました。
0:04:06	そして社内の申請書の確認体制ということで、次の 29 ページ。
0:04:11	こちらで説明させていただきます。
0:04:15	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:16	29 ページですが、
0:04:18	日立造船の社内の申請書の確認体制としましては、
0:04:22	まずは社内の設計管理規程というものがございしますが、そちらに従って業務を実施しております。
0:04:29	そして、まず初めに、今回の申請書作成におきましては、先行他社の申請書の内容確認、
0:04:36	そして、当社申請内容を社内で協議し方針を決定いたしました。
0:04:42	そして、評価内容、
0:04:44	決定した方針に基づきまして評価内容光学式の根拠を確認。
0:04:48	こちらはですね主にHitz-B52 型、道路、同様の設計、類似の設計となっております。52 型の評価方法をまず踏襲した上で、
0:04:58	先行で申請された内容。
0:05:01	反映すべきものを検討し、反映いたしております。
0:05:05	そして
0:05:06	光学式の計算書の作成、評価を実施いたしました。
0:05:11	この計算に関しましては、入力計算結果ダブルチェックを行っております。
0:05:17	そして、作成した計算書は、元設計者以外による検証を行っております。
0:05:24	また妥当性の確認ということで、数類似設計であるHitz-B52 型の評価内容と比較をして、結果の傾向を確認して、問題ないと。
0:05:34	おかしい傾向が出ないことを確認。
0:05:36	出しました。
0:05:39	そして最後に申請前に、申請書に関しましては、関係者で読み合わせを実施し、申請者を確認という方。
0:05:47	手順を踏んで提出しております。
0:05:51	以上が必須社内の申請書の確認体制となります。
0:05:55	それでは 30 ページに移らせていただきます。
0:05:59	続きまして、市、
0:06:01	指摘事項、次の世紀事項としましては、申請時から設計方針が変更になった点について、
0:06:08	こちらの理由を設置して説明することということで、説明させていただきます。
0:06:14	申請時から設計方針を変更した理由ですが、まず申請全体の評価方針としまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:21	次に、いくつか、
0:06:24	まず先行して申請されHitz-B52 型の評価と同様であることが前提となりますが、
0:06:31	先行して審査されたキャスクの申請書、
0:06:35	先行他社のものを考慮して申請書を作成しております。作成しております。
0:06:41	そして申請後ですが、先行して審査が進められている。弊社の、
0:06:46	PP24 型の審査コメントというのは、考慮いたしております。
0:06:51	この審査コメントについての内容を社内で議論、
0:06:55	そして、手術反映が必要と判断したものは、補足説明資料作成時に、こちらを反映。
0:07:03	しております。
0:07:05	また、申請書記載内容についても、
0:07:08	審査内容を踏まえて、こちらの補足説明資料の、もし見直し等がございましたら、必要と判断したものを見直すということで、
0:07:20	計算書等の作成、資料の作成を進めておりました。
0:07:28	続きまして、全体の方針方。
0:07:31	に基づいて、個別の評価方針、
0:07:35	評価をいたしております。こちらの方針については、
0:07:39	まず、密封シール部の、この地震、
0:07:43	耐震評価の密封シール部、耐震評価のバスケット、そして耐震法の該当の評価。
0:07:49	耐震評価の前列の評価、そして、津波竜巻、津浪タツノ牧野がイトウの評価。
0:07:56	こちらについて個別に説明させていただきます。
0:08:01	では、31 ページに移ります。
0:08:06	まず、
0:08:08	耐震評価の密封シール部の評価ということで、設計基準値の設計の見直しによるせ、基準値の温度施工の見直しによる許容基準値の見直しということで、
0:08:18	こちらは申請時はどう、そこ板が一体であることから、
0:08:22	145 度、全体の 145 の設計オノと設定しておりました。
0:08:28	そして、補足説明資料の作成時には、ヒッピー24 型の審査状況を考慮し、米津の補足説明資料との整合をとり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:36	また、設計温度 145°Cが、実際の解析値と 10 度の差異があることから、この実際に評価するフランジ部、
0:08:44	が対象になってますこちらの、対して保守的と判断しましたので、IVの密封シール部。
0:08:50	こちらの設計温度 135 度の見直しを行いました。
0:08:57	なお今回審査を受けまして、申請時の応力評価結果及び評価基準値をもとを用いても、
0:09:05	基本的安全機能の影響はないと判断しますので、再度見直させていただき、申請書は変更は、そのまま変更はなく、そのままの記載とし、補足説明資料を訂正する。
0:09:16	そういうことをさせていただければと考えております。
0:09:21	続きまして、バスケットの評価結果の見直しに関しましては、これは少し整理がも追いついておりませんので次回ヒアリングで回答させていただきます。
0:09:31	では 32 ページに移ります。
0:09:34	3 番目のが
0:09:36	耐震評価の該当の評価ですが、計算評価からFEMの評価への見直しということで、申請時には、先行例として、
0:09:46	三菱さんの 24P型が手計算での評価を行っているのに対し、
0:09:51	弊社のP24 まではFMの解析で評価を行っておりますと。
0:09:56	その確認をしております。
0:09:58	Hitz-B69 型の該当に関しましては、三菱さんの 24P型と同様にストレートな形状となっていることから、
0:10:08	こちらを参考にして手計算での評価、申請時に手計算での評価を行っていましたが、補足説明作成資料作成時に、先行して審査が進めた、弊社のP20 型の評価に合わせて見直しを行いました。
0:10:22	またこちら同様に撤去規格の変更がございまして、もともとは申請時には、
0:10:30	前月比は、
0:10:32	街灯は前月比と前列部材中性子遮へい材を、
0:10:37	支える構造物であるとの観点から、プラスは支持構造物の支援に準じる構造材として評価しては行いましたが、
0:10:44	これはP24 型の評価に合わせて、
0:10:48	金属キャスク構造規格の中間胴に見直しを行っております。
0:10:52	行いました。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:54	4 番目の伝熱水。
0:10:56	こちらの耐震評価、津波評価竜巻評価に関連しますが、電熱品
0:11:03	もともと、一つは、ヒアリングでの議論がございました。内容 2 の方なんですけど、ございました。前列品と同部の接続部が溶接箇所ということで、
0:11:14	継ぎ手効率を考慮というのが
0:11:16	反映することになりました。こちらヒアリングを受けての見直しをさせていただきます。
0:11:23	また、同じく、内容の 1 番目ですが、設計基準値の変更。
0:11:28	こちらに関しましては、伝熱心は伝熱部材であり、ニック容器の構造強度を担保するものではない。
0:11:35	しかしながら必要な除熱機能が維持される必要があることを考慮して、申請時には、
0:11:41	材料規格に記載の、
0:11:44	ある許容引張応力率を用いることとしておりました。
0:11:49	一方、先行している P20 オガタの審査会内容をかんがみて、
0:11:53	こちらも協議いたしました。冷熱品の溶接部破断しなければ、除熱機能が維持されるということで、今後検討しましたので、PP24 型の評価方法に合わせて、
0:12:05	席順値を Su とし直すという
0:12:11	次の 33 ページ目に、
0:12:15	最後に、津波竜巻評価の該当の評価になります。
0:12:20	こちらの設計方針の見直しに関しましては、
0:12:24	こちらまずは評価モデルの見直しということで、こちらヒアリングで議論させていただいた内容となります。もともと設定した両端固定のモデルです。
0:12:34	こちらに関しましては、津波波力を受けたときに、下部レジンカバーが変形する可能性を考慮して、こちらの接続方法、
0:12:42	モデルを変更した方が良く我々判断し、
0:12:48	片方を接続をピン支持とするモデルに変更して見直しを行いました。
0:12:56	なお、同フランジの部分はそのままとしております。
0:12:59	また、同じく溶接部ということで溶接の継ぎ手効率を考慮することといたしました。
0:13:07	次のアノ等面積の見直しになりますが、こちらは、ヒアリングの議論でのモデル変更を受けまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:15	もともと設定していた、1000、先行他社と準じたモデルということで、
0:13:23	荷重を受ける投影面積を最大の外径と全長、これは緩衝体を含むものとしておりましたが、
0:13:29	一方で、モデル変更、
0:13:31	検討した場合に、発生応力が増加したり、継ぎ手効率を考慮することによって、協力が低減することで、もともと保守性、保守的に、
0:13:43	設定したモデルですが、実際の評価を考慮しますと、少し補正を
0:13:51	見直すべきではないかということで、遠い面積を
0:13:54	この機会に該当の、
0:13:57	会計の長さに修正とさせていただき、モデル変更に合わせて、面積の見直しを行い評価を見直しました。
0:14:08	こちら 3 番目ですが、該当評価の
0:14:13	区分ですが、先ほど
0:14:16	耐震のところでご説明した通り、クラスは支持構造物から金属構造規格の中間胴に、
0:14:24	設計方針の見直しの詳細については以上と。
0:14:29	続きまして先ほどの設計方針見直しの 31 ページの密封シール部の
0:14:36	に関しまして、
0:14:37	同様に、コメントをいただいているところのご説明いたします。
0:14:41	27 ページに移ります。
0:14:45	こちらのシール部の教授の見直し内容の具体的な説明ということで、説明させていただきます。
0:14:53	設計温度を合理的に設定という表現を使わせていただきましたが、こちらの内容に関しましては、Hitz-B52 型及び先行の審査内容を基にして設計を実施しており、
0:15:04	申請者の見通し力を含めた同全体の評価は代表の値を示すという考えのもと、
0:15:10	申請書には、同蓋部全体を合わせた、設計温度 145 度で評価をしております。そして、その結果を、各申請書の表に示しております。
0:15:25	補足説明資料の作成に関しましては、P24 までの審査状況も考慮しながら、除熱の補足説明資料 16-4、こちらを作成しておりますが、
0:15:36	こちらが各部詳細評価として、
0:15:38	最高温度の間を、それぞれ個別の部材、そこ 1 度は 145 度等フランジを含め、含めた動は 135 度席を示し、お示しました。
0:15:49	また、自然現象の、津波竜巻、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:55	地震の評価に関しましては、シール部の設計温度は除熱の補足説明資料との整合性をとることとし、
0:16:01	胴フランジ、
0:16:04	市、また、同フランジは、全体 145 としておりまして、先ほど 1 番目に述べました通り、145 としておりましたが、中度の温度差での許容値は保守的であると再度判断したことから、
0:16:17	シール部は、個別のを評価、130145 度から 135 度に見直しを行いました。
0:16:25	この、合理的にということはないようですが、除熱解析の結果申請書で設定している蓋部床板を含めた胴部の設計温度 145 度、
0:16:35	というのが、同フランジの設計温度 135 に対し、
0:16:39	重度の差となるため、保守的であると。
0:16:41	さらにヒッピー24 型の、
0:16:44	審査状況を考慮し、引き続き 24、
0:16:49	方では、同様のこの各部、詳細評価をした設計を用いるというような同様の考えで説明していることから、設計等の見直しをしたという、
0:16:58	意味となります。
0:17:01	ご説明は以上となります。
0:17:04	まずは
0:17:09	入力値の誤り、また
0:17:12	積方針のところに関しましては、以上となります。
0:17:25	では、
0:17:30	ちょっと私の方から幾つか確認したいんですが、まず指摘事項の中なんかでも、
0:17:37	これ、誤りの理由と
0:17:40	書いて、
0:17:49	28 ページ目。
0:17:56	個別に
0:18:02	整理が十分でき、
0:18:14	このあたり
0:18:22	でこれに対しては、
0:18:24	是正措置という
0:18:30	この簡易的な評価っていうのはこれ、
0:18:34	はい。
0:18:45	外部事象以外の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:52	うちもあわせて確認
0:18:55	もしくはと。
0:18:56	今、同じ申請である、P24、
0:18:59	こちらの、
0:19:00	方もあわせ、
0:20:17	規制庁
0:20:18	わかり
0:20:29	それに対して確認体制がさ、29 ページ目にあるんですけど、
0:20:36	これ
0:20:49	ていうと、
0:20:52	20、
0:20:53	ページ目。
0:20:55	どこで気づくべき。
0:21:25	D、
0:21:27	トレイ事象が発生する前
0:21:35	何か
0:21:44	直しをされた。
0:22:41	先行の
0:22:48	MHIは多分、
0:23:34	私からは以上。
0:23:36	何か追加で。
0:23:43	すいません内容というよりは多分、見せ方で、さっき松野が言った、29 ページのその確認体制でどこで見たの。
0:23:53	見つけるべきだったのとかっていうアノクロマルポツを、多分この順番にいくんです。
0:23:59	だったらもう番号付けしちゃうでもいいのかなと。1234。
0:24:06	5678。もし、その方がこの順で確認してってんだなっていうのがわかるんで、
0:24:12	いいかなと思うんですけど、ちょっと検討いただいて、同じように、
0:24:18	同じじゃないですけど 30 ページのNo.11、
0:24:23	申請書の評価方針で、先行の申請書とか考慮したり、
0:24:28	あと率P24 でのコメントを受けてっていうのがポツであってそれを受けてあれですよこっちの。
0:24:35	後半の 31 ページからの
0:24:40	影響でなってるっていう、思うので、思うというかそう理解したので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:45	例えば、例えばですけど、この
0:24:48	30 ページの方の四つの方、ABCDで振って、
0:24:53	小口の密封シール部の方は、例えばこれ何の理由でしたっけ。
0:25:02	は、
0:25:03	補足説明作成G2、
0:25:07	あれしたからだから、Dとか、ちょっとあれですけど、KKといて、どの理由でどんどん変更したかを多分この、
0:25:15	今、基準値の見直し1、2通知っていうのがあって、その後にでもつけといたらもっとわかりやすいのかなと思いました。
0:25:25	ちなみにですけど、私はこの地にとか覚えてたんで、何となくわかりますけど、何かこれあると。
0:25:32	前の会合に戻らなきゃいけないから、最初にちっちゃくでいいんで、会社は、ぷシール部のことだから、その逆になくてもいいっちゃいいですよ。どう思います。
0:25:44	この父、(2)とかII
0:25:46	津波で(1)とした竜巻に(1)としたというが、
0:25:51	そうそうなんすよね密封シール部のことだからっていうねそんな、
0:25:56	そうか、逆に訳わかんなくなりそうかなとちょっと思ったんですけど。
0:26:01	あってもいいですかね。それから前のやつの表記で、
0:26:05	出してもらおうとか。
0:26:09	どう思います。私は最初見た時、一体何のことだろうってちょっと思っ て、もう戻ったっちゃ戻るんですけど、
0:26:22	書いてあるからいいですかね。
0:26:28	大したことないですよ。
0:26:29	すいません。
0:26:30	すいませんアノとトガサキですけど、今の点は
0:26:34	大事だと思いますんで、
0:26:36	例えばその前の、
0:26:40	資料をですね、前の会合の資料を後ろに参考でつけるとか、この場合 の説明とのリンクがですね、わかる必要があると思いますので、
0:26:51	前野椎野を後ろにつけてもらえればと思いますけどいかがですか。
0:26:58	再々計ってやつ。
0:27:02	結構なページになります。
0:27:04	特にですね、
0:27:06	ちょっと確認したいんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:11	最初ですね、
0:27:14	28 ページのこの説明っていうのが、
0:27:18	この前の説明と少しちょっと変わってるような気がするんですけど。
0:27:23	前の審査会合での、
0:27:27	説明だと思います。
0:27:29	9 ページの
0:27:33	II-(2)の場、バスケットを、
0:27:36	評価する活部分訂正。
0:27:38	というものでいいんですかまずちょっと確認なんですけど。
0:27:46	聞こえてますか。
0:27:50	その、
0:27:51	主幹さん。
0:27:56	審査会前回の審査会合の資料の9 ページですね。
0:28:08	要は、高評価、兵庫県さんの
0:28:14	数セールを入れ替えたっていう話なんですけどその、
0:28:19	誤りでいいんですか。
0:28:22	谷内造船の樋口でございます。
0:28:28	来てる。
0:28:31	では、
0:28:32	表計算の方も、そのエクセルの入力値が間違ってた。
0:28:40	これ、
0:28:41	実際のところ、
0:28:45	すか。
0:28:57	方向の津波の影響であっても、
0:29:04	それを、
0:29:11	でそれを、
0:29:15	捨てるの入力、
0:29:19	今回の件と同じ内容でございます。
0:29:23	規制庁の藤トガサキです。
0:29:26	ちょっとこの前の説明は単純にこの制度を、
0:29:30	間違えただけだというふうに、
0:29:34	説明があったと思ってたんですけど。
0:29:37	その影響として、同じようなセールの後、取り違えがないことを確認したという説明だったんですけど、
0:29:45	今回はちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:48	その説明がなくて、
0:29:52	ちょっと後、簡易的なモデルの時に、
0:29:56	数字が書いてなくて、取引が発見できなかったっていうか、書いてるんですけど、ちょっとその関係が、
0:30:06	ちゃんと資料に表せてないと思うんですよ。
0:30:10	ちょっとそこ、最終的には0の取り違いなんですか。
0:30:25	遅そこはつなげて書いてもらわないと前回の説明との、
0:30:29	これアノと繋がらないと思うんですよ。
0:30:33	承知いたしました。では事例の概要のところの、
0:30:38	入力、
0:30:45	イデちょっともう少しだからちょっと確認したいんですけど、この何ですか
0:30:52	この縦という、横ですから軸方向と径方向を
0:30:57	だから、縦置きの場合は、その差が生じないんですけど、
0:31:02	横だと少々行きます。
0:31:05	で生じるときに、
0:31:10	前野田から説明を取り違えたっていう形と軸方向を間違えて入れ違えたっていうふうに、
0:31:18	読んだんですけど、そうじゃないんですか。
0:31:24	あれですかだから、縦の時には違いはないんですけど、これ横にすると、塾頭形で違うんだけどその違うのを、
0:31:36	ちゃんと会員モデルに加速度を書いてなかったから、
0:31:41	基本計算に入れるときに、それを入れ替えて入力してしまったということなんですか。
0:31:47	首藤店。
0:31:51	そういうことをちゃんと書いて、前回の説明にちゃんとつなげてもらえますか。
0:32:02	はい。規制庁のトガサキです。あと、その上の指摘事項の7名中の、
0:32:09	入力値の誤りについて誤りの理由。
0:32:14	とか者、社内の確認体制については説明あるんですけど、他に誤りがないかっていうことに対する答えはどこにあるんですか。
0:32:31	谷津造船の樋口でございます。
0:32:35	同様の不適合、
0:32:47	だからここは、
0:32:50	結果が書いてないですよ。
0:32:58	今後のこととしては読めるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:15	ナカヤマにも、
0:33:17	ので、
0:33:22	はい。だから規制庁のトガサキですね。だからこの前の話ですと、その他単なる単なる表計算の数値の取り違い。
0:33:35	が原因だったんで、それは他にはそういう、
0:33:39	だから間瀬そういう諸表計算を使ってやるようなやつがないとかですね。
0:33:44	あったとしてもただの、同じように入れ違い出るものはないっていう説明だったと思うんですけど、今回は、もう少しちょっと違って、
0:33:54	その簡易モデルをこれを使う場合に、ちゃんと数字を書いてないことによって、
0:34:01	今、日方向を見よって、今、層厚がいてしまったっていう話なんですけど、簡易モデルを挟んでやるやつってのは何か他にはなかったんですか。
0:34:18	少々お待ちください。
0:34:36	はい。日立造船。
0:34:40	評価というのはバスケットのところ
0:34:45	はい、規制庁のトガサキですんで、そういうことであればそういうことを、
0:34:51	同様の不適合がないかの確認のところに、
0:34:55	ちゃんと書いていただいて、バスケッ2についても、地震津波、竜巻、
0:35:03	NOと評価やりますけど、その地震と竜巻には影響がなかったっていうことがわかるような記載をお願いしたいと思うんですけどいかがですか。
0:35:15	大崎造船の樋口でござい
0:35:19	そこに関しましては、ちょっと明確につけないところが
0:35:36	誤りではないんです。
0:35:46	津波に関しては、ちょっと評価すると。
0:35:56	金もですね。
0:36:16	したがいまして、
0:36:17	このスベン、
0:36:20	イトウ、
0:36:21	影響がないとは言えない。
0:36:32	規制庁の高崎ですそうであればそれをちゃんとこの28ページに書いていただかないと。だから質問が、他に誤りがないか。
0:36:41	各説明することってなってるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:45	今だからその答えがない状態だと思うんですよ。
0:36:50	先ほど言われたように、バスケット、この簡易モデル使ったのはバスケットだけなんで、他は問題ない。
0:36:59	と。
0:37:00	あとそのバスケットDだからその津波とか竜巻は問題ないんですよね。
0:37:05	地震だった地震については、まだ今、確認中だったら確認中とかですね。
0:37:11	そういうことを書いてもらわないともうこれ答えが、クローズしないと思います。
0:37:23	記載内容ちょっと。
0:37:34	お願いしますそれでちょっと先ほどちょっとあった地震のところは、前の、
0:37:40	審査会合の説明資料だと。
0:37:43	6 ページですね、6 ページに、バスケットの
0:37:48	の評価で、
0:37:50	これもうだカラー
0:37:53	水平縮とか鉛直とか。
0:37:56	をやってるんですけど、この、ここでも、だから、見直しがありましたよね。
0:38:02	そこに影響するってことなんですか。
0:38:13	はい。館造船の井口でございます。
0:38:15	その、そこに影響するものでございます。
0:38:20	すいません。ここ0地震の誤りが元になって影響するんですか。
0:38:30	すいません日立造船の樋口でございます。こちらは津波ミイでの評価の影響によって、
0:38:37	速度ではなくてですね、
0:38:48	ちょっと丁寧に説明させていただきますと、
0:38:52	今、この6 ページ、これ前回の審査会合の6 ページで説明させていただいたのは、
0:38:59	69 体の本パートナー、はい。
0:39:04	平均的な評価を行ったら、評価結果が5MPaになると。
0:39:11	というような評価だったんですけども、そもそものこの評価の見直しというのは、ホデ玉野湖と
0:39:20	長様の方からですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:24	内部の 47 体のコンパートメントというのは、自由に動くような状態になってはいるんですけども、摩擦等の影響でですね、
0:39:39	集合して、
0:39:41	まして、
0:39:41	であればですね、より保守的な評価方法といたしましては、24 本のコンパートメントで 69 本の分のコンパートメントの荷重を付加させると。
0:39:55	というような評価方法が、より保守的であると。
0:39:59	いう、考えがございまして、設計を反映するとですね、当然、応力値を上がっていくということになりますので、
0:40:26	応力値を見直すと。
0:40:33	規制庁の高崎です。そうすると先ほどの指摘事項の 10、10 番の入力値の誤りとは違う話ですよ。はい。おっしゃる通りでございます。
0:40:43	それであれば、このさっきの 28 ページは、
0:40:47	これはだから、入力値の誤りに対する、
0:40:51	あれですから、チェックですから、
0:40:54	ここはクローズできんじゃないんですか。
0:41:16	はい、わかりました。だから今回、誤りですね。だから、いろんな要因があって、変更されてますけど、
0:41:25	誤りについては、だから
0:41:29	再チェックして、
0:41:31	同様な誤りがなかったっていうのを説明してもらう必要がありますので、
0:41:36	それはそれでちゃんと詳しく説明をお願いします。で、他の要因の利用による見直しについては、その 30 ページ目以降ですか、そこに書かれてますので、
0:41:50	特にさっき
0:41:52	櫻井が言ったのが大事で、
0:41:56	30 ページの他の要因の修正ですね。
0:42:00	それ、四つポツありますけど、それぞれどの要員の修正なのかっていうのをわかるようにしてください。
0:42:12	特にですねこの四つめ、四つ目がちょっとよくわからないんですよ。
0:42:19	一つ目、二つ目、三つ目まではちゃんと他の。
0:42:24	審査での、
0:42:27	コメントの反映ということだと思うんですけど。
0:42:29	四つ目ってのはどういうのはアノことなんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:45	日立造船の方です。32 ページの 4 番目の前月比の評価ということでは 30 ページの 4 ポツ目です。すいません。はい。四つの要因、要因が書かれてますよね。
0:42:57	はい。四つめの申請書記載内容についても審査内容は未定という
0:43:02	はい。こちらの意味はですね
0:43:05	もともと上の審査コメントについて補足説明資料に反映というところで、こちらの
0:43:13	補足説明資料に反映した場合に、どうしても申請者と内容が異なるものが生じた。
0:43:21	ものがございまして、その場合は、審査内容も踏まえてやはり審査、申請書記載内容を見直すべきか、もしくはそのままとすべきかというところの判断というふうに、
0:43:36	ことをちょっとご説明したかったというところでは。
0:43:40	ですから申請書記載内容を見直してというところで、
0:43:46	必要なエミやはり、どうしても、
0:43:49	補足説明資料の内容、
0:43:51	また、審査内容等は、考慮して見直すべきところが出てしまったというところで、
0:43:57	必要と判断というふうに表現させていただきました。
0:44:02	よろしいでしょうか。他、他、規制庁とかスギタじゃこれはプロセスを変えてるんですか。
0:44:10	今日、申請書全体の評価方針でまず一つ目は、この
0:44:16	今の申請書を作る時の、
0:44:19	考え方が書いてあって、次は申請後に、
0:44:23	だから、
0:44:25	PHITSP24 方のコメントを考慮しました。
0:44:32	三つ目は、
0:44:35	それオダ補足説明資料に反映するものを変えていて、最後の四つは申請書についてことですか。
0:44:46	日立造船の方です。はい全体の方針ということで、プロセスは、その考え方の流れとしては、プロセスというふうに、
0:44:56	いければと思います。
0:44:58	そうすると、今回変更した病院というのはこの 2 番目の、
0:45:03	申請後先行して審査が進められているPHITS24 型の審査コメントコードっていうものだけなんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:40	規制庁の戸松イケダ例えば先ほどの、今あれですね、その津自身のバスケットの見直してというのは、1つ24ではなくて、この
0:45:50	今回の計画の申請の中で出てきた。
0:45:55	コメントの対応なんじゃないんですか。
0:46:01	日立造船の方です。すみませんちょっと私の理解がちょっと不十分だったかもしれませんが、今回のNo.11に関しましては、ヒアリングを受けてのコメントというのは、
0:46:12	基本的にはもう変更すべきということで、こちらの評価方針にはちょっと記載しておりませんでした。あくまでも、我々側との判断で、変更したもののということ、理解で、
0:46:25	この流れを書かせていただきました。ですからはい。今お話ありました通り、当然審査の中、内容を受けて、見直したのもございます。
0:46:35	はい。ただ、説明の中で、それを説明しないとちょっと我々ちょっと説明がなかなか難しいものに関しましては、今回の資料に書かせていただきました。はい。
0:46:46	そうですねいけませんちょっと
0:46:50	はい、そうそういう理由となります。はい。
0:46:52	規制庁のトガサキですこの質問の趣旨は、1回、申請されたものは普通は
0:47:01	よっぽどのがないと、修正とかされないとと思うんですけど、その申請後にな、なんで急アノ修正が必要になりましたかっていう、
0:47:13	質問で、その理由を説明してくださいっていう、質問です。で、その理由が、
0:47:21	PHITS24の審査のコメントをて、
0:47:26	書いてあるんですけど、
0:47:29	これは、
0:47:31	これは2ヶ所時系列的にはあれですか
0:47:36	三つ24の、
0:47:38	そうですねだから、並行して審査してるからそれぞれの試験を入れてるっていう、それは何か理解できるんですけど。
0:47:47	それ以外に、何か変わっ変えた場合ですねで、ヒアリングの中で出てきたコメントの反映というのもそれもわかるんですけど、
0:47:58	それ以外のものがないかというのを、各確認したいんですけど。
0:48:03	それ以外のものってのはないんですか。
0:48:45	規制庁のトガサキです。例えば33ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:50	ないようにですね、
0:48:51	漏えい面積の見直しっていうのは、
0:48:57	あれですねと、特にだから、今回変えたきっかけっていうのが、
0:49:03	書かれてないと思うんですけど。
0:49:15	なんであの面積、投影面積を変えされることにしたんですか。
0:49:21	鉄道線ハマダです。
0:49:29	評価モデルを見直しを
0:49:33	その際に
0:49:35	計算を行って、
0:49:38	これ。
0:49:45	会計の面、
0:49:54	わかった。
0:50:07	規制庁のトガサキtheだから普通は申請される前にそういう社内のチェックとかやりますよね。
0:50:15	申請後っていうのはだから、もう他の要因ですね、先ほどの率 24Pの反映が必要だとかですねそういうのがあったら、
0:50:25	それがきっかけになるんですけどあとヒアリングで何かコメントとかして、
0:50:30	それに基づいてもう 1 回確認するとかですね。
0:50:33	それ以外に、新名なんでもう 1 回計算が必要になったんですか。
0:50:44	はい。日立造船の緒方です。すいませんちょっと説明がちよっとちよっと不十分でした。申し訳ございません。ここの部分は、もともと
0:50:54	Cさんヒアリングの中で、モデルの変更、結構中大きなモデルの変更というふうに我々は理解しておりました。一つはモデルの変更によって、
0:51:04	発生する応力が高くなる、また継ぎ手効率を考慮するということで、我々ちよっとそこ反映した場合、
0:51:13	万一、応力が
0:51:15	ですから、許容値を超えてしまう可能性があるのではないかと溶接継ぎ手効率も半分
0:51:22	3 分の 2 程度に落ちるということで、
0:51:24	ですからこの機会に、誘導裕度もしくはオーバーするというような心配をございましたので、ヒアリングモデル変更を受けて、
0:51:34	というのを議論させていただいた内容を受けての変更というふうにさせていただきます。こちらすみません理由としては、ヒアリングの内容を受けての再度の検討ということでご理解いただければと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:47	よろしくお願いします。
0:51:49	はい。じゃ、規制庁トガサキでしたらちょっとそういう、
0:51:53	のがわかるようにしてもらいたいんですけど、キッツ 24Pの、
0:51:59	あとこの新アノ審査の中での、
0:52:03	ヒアリングとか審査会合を、
0:52:06	でのコメントを受けて、
0:52:08	見直したものとかがですね。
0:52:11	そそれ以外はないんですかそれ、それ以外は、
0:52:14	要はですね 9Fの中で、普通、社内でちゃんと機チェックしたものを申請して、あとは、基本的にはもう変えないと思うんですけど、
0:52:25	なんでそういういろんなものをですね、変えたのかっていうのとそれはちゃんと社内で、ちゃんとQAプロセスとかええて、決定されているのかですね。
0:52:37	そそういうのを確認したいんですよ。
0:52:41	だから比当然だから、PHITS24Pの反映とかってのは重要だと思いますし、ヒアリングとか審査でのってのは、給与だと思うんで、それは問題ないと思うんですけど。
0:52:55	それ以外に何か例えば、もっと合理的に設計した方がいいとか、まだ型式証明の段階なんで、型式指定に向けて詳細設計をしたら、
0:53:07	こういう効率的なやり方があるとかですね、そういうのを、もし、決めて、社内で決めて、直してるんだったらそういうのを書いてもらいたいんですよ。
0:53:16	そういうものはない、ないというふうに理解してよろしいんですか。
0:53:26	はい。日立造船の方です。はい今は提案、説明させていただいている、この個別のところに関しまして、B24 に向けての変更。
0:53:37	また先ほどの説明させていただいた通り、ヒアリングを受けての検討変更という内容で、ものになりますので、その他ございません。
0:53:49	はい、わかりましたじゃちょっとそこら辺がわかるように記載をお願いしたいと思います。
0:53:55	ここの件は以上です。
0:54:02	規制庁小俣です。
0:54:03	堀さんから何かあります。
0:54:07	すいません。規制庁細江ですけども。
0:54:11	今の 33 ページのところですね。
0:54:14	ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:16	うん。
0:54:17	うん。これあんまり言わない方がいいんじゃないのっていうふうなところなんですけども。
0:54:23	例えば、応力評価を保守側に評価する評価モデルへの変更が必要になったこと。
0:54:31	というふうにかこう書かれてるんですけども、
0:54:36	これってね。
0:54:37	いろんな、今の話でいろんな経緯があつていろいろ見直しをされてるということはわかるんですけども、
0:54:46	この書き方だと、要は事業者が十分にね、
0:54:53	要は寝てない。
0:54:55	いろんなことが方針決めてそれに従って設計するっていうところに対して、自信がないものを出してきたというふうに、読めるような気がするんで、
0:55:06	少しは、ちょっと言い方変えた方がいいんじゃないかなと。
0:55:09	いうふうに思います。何か、結局何か言われたら変えなきゃいけないっていうことだね。要は事業者としては、何言ってるんだっていうところがないと、
0:55:20	やはりそういうところに対して、いやいやこういうところもあるんじゃないですかっていうふうな話が出てくると思うので、最初から何言われたらどうしようっていうことでは、ちょっと、
0:55:32	いうふうにもちょっと見えてしまうんであくまでも社内の中でクローズした、十分に検討が練られた、方針に従って、きっちりやったっていうものが出てきてるという大前提があると思いますので、
0:55:47	ちょっと言い方を工夫された方がいいんじゃないかなと思います。
0:55:53	ちょっと前に戻るんですけども、
0:56:03	前の例えば、トガサキさんとか、松尾さんの伍して聞いと、かぶるっていうかちょっと具体的な話、具体的っておかしいですけども、
0:56:15	偉い話かもしれませんが、
0:56:18	要は、
0:56:20	これ見たら、どうしてもす不適合が再発しないよ、29、28 ページかな、同種適合が再発しないように、
0:56:31	キャスク孔口ごとの加速度を明記すると、これはね、対症療法なんですよねはっきり言ってね。
0:56:40	要は何かつつたら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:44	人間ですからね何かあるんですよ、いろいろと思うんですね。
0:56:49	いろいろやらかした経験のある立場から言うと、
0:56:56	今日はもう少し、どういうかな、ここで、そうじゃなくって例えばね、チェックをどういうふうにする、どのようにするというふうなね、もっと全体的な話があって、
0:57:10	こういうことでこういう事象を受けて例えば今回のやつでは、評価モデルに明確に書いてるということが、書くというアクションと、それを確実に確認するっていう各種アクションになると思うんですけどね。
0:57:25	だから、要は、ちゃんと、要は事業者としてね水平展開をやってんだよというふうなところが、見える必要があるんじゃないかなと思います。
0:57:37	で、
0:57:38	29 ページの確認体制っていうところも、ここは確認体制だっていうことの、ご説明だとは思んですけども、
0:57:47	要は、今回の事象を踏まえて、何がしね、例えば、どこの何名に対してはここに対して、こうしますとか、例えば社内のこういう、こういう、例えばチェック要領書みたいなのが多分、
0:58:01	当然作られてると思いますのでそこでね、どういうことを、チェック項目に加えて、漏れがないようにするとかね。
0:58:08	そういうふうな要は注記でも何かよくわかんないけども、この先ほど何番、何番の問題ですかっていう、こちらからの
0:58:19	事実確認があったと思うんですけども、
0:58:22	それに従って、4、四つ目ですよと、四つ目に対して、こういうことその再発防止及び今後どういようなことが起こらないように、例えば、
0:58:33	ここをどのように強化したっていうふうなところがね、何か見えれば、そうなんだねと確認体制も少し強化されたっていうことがね、理解できるんじゃないかなというふうに思います。
0:58:48	一応、今回はそのプロセス、やり方の話だと思いますので、実際ね、その通り実行するっていうのは、事業者の責務になると思うんですけども、
0:59:01	そういうことを踏まえてですね良くするっていうことが大事だと思いますので、そこが見えるように、何か過失いただければと思います。以上です。
0:59:34	はい、お願いします。
0:59:43	以降、
0:59:44	91

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:46	ナカ
0:59:53	はい。日立造船の岡田です。それでは資料 1-1 の、
0:59:58	次続きましては 10 ページ目に戻る
1:00:00	ます。
1:00:02	まず、10 ページ目の指摘事項No. IIIに關しまして、バスケット構造について、上部格子ラックの構造にした理由の説明、また燃料集合体と公衆棧コンパートメントの
1:00:14	コンパートメントとの關係を示すこと。
1:00:17	二つ目が、クランプとその構造部材に關する構成部材に關して、Hitz-B52 型の構造が少し異なるような考え方や、構造強度評価上問題ないことの説明。
1:00:27	そして三つ目、JAS目の金属キャスク構造規格で、バスケット材として規定されていないSG295 を採用した理由を説明。
1:00:36	そしてこの 2 級、SG2 級 5 台に変更することで、遮へいや構造強度など安全機能への影響の説明。
1:00:44	となりますバスケットに關する、こういうご指摘事項になります。
1:00:48	ではまず、一つ目の燃料集合体と公衆棧コンパートメントとのコンパートメントの關係をし、ということで、こちらの 10 ページ目の方に關係図を示しております。
1:00:59	この上部格子棧は、この赤棧で示した部分に、
1:01:05	バスケットの右側が上部、左側下部となっております、この赤棧で示したところが上部格子棧になります。
1:01:13	一方で燃料、
1:01:16	集合体についてへに並行して示しておりますが、この上部格子棧の位置に關しましては、そのコンパートメントの部分で、すべて燃料有効部が、
1:01:26	収まっておりますので、この上部格子棧の範囲としましては、上部の構造体の一部が、この範囲に入るというふうに、
1:01:37	それは続きまして
1:01:39	11 ページ目に移らせていただきます。
1:01:44	この上部格子棧の構造にした理由ということですが、きつい 69 方においては、キャスク重量が使用済み燃料の収納体数の分だけ、この 52 体から 69 体、
1:01:56	増加することになるが、一方で、キャスクの取扱制限重量というのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:01	五十人型とB69型で大きく変わらないというところで、バスケットの重量低減を図るというのが、その大きな理由となっております。
1:02:10	そのため、この
1:02:12	全長をもともとB52型、こちらの図を示させていただいておりますが、その右側の図になります。全長がコンパートメントという構造。
1:02:22	そちらから左側の修繕の図に示しており、示しております。69型の構造ですが、先ほどの
1:02:30	燃料の構造部材の部分に関しまして上部格子枠というのに変更することにしております。
1:02:37	この構造の違いということですが、もともとアノ52型は、上部までコンパートメントそしてさらに、そのコンパートメントで中性子吸収がかさんでおりますが上部まで中性子吸収材を配置しておりました。
1:02:50	しかしながら安全機能ということでこの中性子吸収材を、この
1:02:56	構造部材の部分まで
1:02:59	挿入する必要がないというふうに判断いたしまして、
1:03:02	この主に、目的としてはこの上部部分は、構造部材、支持機能ですねバスケットの式の持つ構造に見直しを行っております。ということでこの上部工集約という構造に、
1:03:15	しております、そしてさらにこちらで部材の自由度低減を図ることいたしました。
1:03:22	こちらが理由となります。
1:03:27	では続きまして12ページ目に移ります。二つ目の、
1:03:31	ご質問
1:03:32	件ですが
1:03:34	クランプとその構成部材に関する
1:03:39	説明となります。
1:03:41	まず、こちらの右側の図に示しております通り、バスケットの全体構造としては、外周のコンパートメントを、
1:03:49	サポートプレート等で結合しております。この
1:03:52	そ外側のところです。そしてさらに上端は上部格子枠。
1:03:57	下端は西部プレートとボルトで締結する構造としております。
1:04:02	そして、サポートプレートはこちら分割構造となっております、
1:04:06	そちらを締結する構造を食らう構造となっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:12	そしてこのクランプ構造は、次のページの図を示しておりますが、サトウとプレート上下に1組で締結構造を有しており、このサポートプレートを、分化したものをリリースするための構造体、
1:04:25	そして、このクランプ構造がない場合には、コンパートメントはキャスク本体胴内、挿入された後に限定された範囲。
1:04:33	で、K方向に広がる方向に変位する可能性がございます。
1:04:38	またこのクランプ構造を設けることで、通常取り扱い時の束ねという編入を拘束しております。
1:04:46	なお、特別な試験条件で9メートル落下のような大きな衝撃加速度が発生する場合にも、コンパートメント等の変位を制限するということで、コンパートメントやスペーサー及び中性子吸収材の、
1:04:57	化学的配置が損なわれないような、役目を果たしております。
1:05:03	当然この具体的なクランプ構造に関しましては次の13ページ目にですね、
1:05:10	こちら右側がHitz-B52型のクラウド構造、左側がHitz-B69-Cloud部構造となっております。このクランプの構造というのは、図に示すと。
1:05:23	このクランプ自体はボルトにより、固定されるという固定する構造としております。ただしゴール等に関しましては、構造部材としては考えております
1:05:34	当然評価に関しまして、実際の応力評価に関しましてはこのモデル化。この考え方は、バスケットの構造強度評価井関ではサポートプレートを締結する要素として、
1:05:47	定義しております。
1:05:49	解析モデルがモデル化しております。
1:05:52	こちらはHitz-B52型と同様の方針で、以前、資料はちょっとさしていたただいてる52型の方で説明した資料を引用させていただいております。
1:06:03	52型のと、この69型のクランプ構造の差異に関しましては、締結方法、どちらも外側から挟み込む構造としておりますが、
1:06:14	69型では、この重量低減等の図るために、バスケット自体の外周、少し
1:06:24	コンパクトといいますか会計の低減、
1:06:27	大きさをなるべく小さくということで、上が運営上下から積み込む構造としております。
1:06:33	一方でB60、B52型に関しましては、外側から挟み込む構造としておりますが、もともとこれはバスケットを締結する構造としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:44	クランプの取り付け方法違いがございますが、機能や評価方法は同様となつて、同様で、
1:06:51	あると考えて、
1:06:54	このバスケットの構造に關しましての背バスケットの構造については以上となります。
1:07:01	ではもう一つ、SG2 級材に、
1:07:05	關する
1:07:08	14 ページ。
1:07:12	まずこのSG295 台を採用した理由としましては、Hitz-B69 型においては、キャスク重量は使用済み燃料の収納体数の増加に伴い、この 52 体から 69 体、こちら側の重量増加。
1:07:25	んなりますが、一方で、取扱制限重量は 52 型と 69 等で大きく変わらないというところもございまして、バスケットの重量低減化を目的として、
1:07:35	この字数時産地もともとHitz-B6052 型で採用しておりました李ツジさん 118 台。
1:07:45	と類似の組成を持ち、板厚が、この
1:07:48	3118 台。
1:07:50	の下限値が、6 ミリと制限されてますので、それ以下になる。
1:07:55	それ以下で規定されている、実質 1316 のものを選択いたしました。
1:08:02	その次、次辻井 316 のSG2 機ござい。
1:08:06	板厚の制限が 1.6mmから 6mmというふうに、制限幅が、
1:08:11	制限となっております。
1:08:14	そして我々は、この材料を使用できるよう、データの取得を、
1:08:21	続きまして集め材、蓮見企画、
1:08:24	蓮見企画に關する考慮ですが、まず集めてセクションII%とDアノ材料に關する規格になりますが、こちらに新規材料ガイドライン新規材料採用ガイドラインと同様のガイドラインがございまして。
1:08:37	こちらのガイドラインによりますと、9 点の、体力のSyの設定に關しては、
1:08:44	二つ目、材料規格と同様である一方で、設計引張強さS値、
1:08:49	の設定においては、係数に違いがございます。
1:08:52	この二つ目企画の材料
1:08:55	集め規格では、1.1 倍の係数を考慮してますが、安め規格では係数が 1、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:01	月 1.0 倍、
1:09:02	ですから、驚見企画の方が保守的な設計設定であることを確認しております。
1:09:07	本材料はこのJASMINE伝える規格に従って設定を行っております。
1:09:13	そしてもう一つ、
1:09:16	安め規格の考慮ということで、原子力規制委員会の技術評価書ございますが、こちらにフランジ等のひずみが大きく影響するものに関しては、考慮することというような、
1:09:28	記載がございますが、
1:09:30	こちらはバスケット格子ということで、
1:09:34	小さな
1:09:36	変形も許さないというような部材ではございませんので、弾性範囲、当然弾性範囲ですが、
1:09:43	許さないという部材ではございませんので、該当はしないというふうに評価、考えております。
1:09:52	では続きまして、安全機能への影響ということで、
1:09:55	させていただきます。
1:09:57	まず材料変更において、
1:09:59	構造強度に関しましては、られた強度データに基づいて、
1:10:05	貯蔵時だけでなく、輸送時の荷重条件に対しても成立する設計となることを確認しております。
1:10:11	臨界防止機能に関しましては、構造強度の設計で臨界防止機能上問題のない設計等を確認しております。
1:10:18	なおこの当該部の組成は、設備を 100%しているところで、講師の違いによる影響というのはございません。
1:10:26	遮へい機能に関しても同様です。
1:10:29	遮へい機能の設計で、遮へい機能上問題ない設計を確認しております。
1:10:34	除熱機能に関しましては、られた物性値に基づいて、貯蔵示談だけでなく輸送時の熱的条件に対して成立する設計となることを確認しております。
1:10:45	閉じ込め機能に関しましては、閉じ込め機能の評価において、バスケット材料の違いによる影響はございません。
1:10:51	こういったところで安全機能への影響を確認いたしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:57	そして、この時ツジ 318 を使用した場合と同様に、各解析評価により適切に以上より、安全機能を満足できること、こういったものを確認できれば、
1:11:07	SG2 級鋼材を我々としてはバスケット材として撤去できると。
1:11:13	なお物性値、あって、
1:11:17	ましては、
1:11:17	補足説明資料 16-1 の別紙 3 の別添 2 に、具体的に物性値の取得の内容について、
1:11:26	記載したものを準備しており、
1:11:29	こちらでそのカーブで見て、
1:11:32	先ほどの物性を、
1:11:34	取得し、またトレイのカーブで評価すると。従ったものをこういった資料を準備して、
1:11:40	説明、
1:11:43	称して、これも説明することになると考えております。
1:11:48	ではSG乳化剤に関する回答説明としては以上となります。
1:11:55	このナンバーツーに関しましては以上となります。
1:11:59	では引き続き説明者変わります。
1:12:17	難波さんは設計基準値。
1:12:22	パワーポイントの 15 ページ。
1:12:32	設計安全機能を担保する構成部材のうち、
1:12:36	地震津波竜巻評価に対する評価部位及び評価点について
1:12:44	見込み機能については評価部位を、
1:12:49	一部、
1:12:51	評価基準としては、
1:12:53	金属キャスク構造とか、
1:13:01	遮へい機能に関しては、
1:13:07	ガイドについては、
1:13:11	主幹、
1:13:12	供用状態。
1:13:18	二つの、
1:13:28	二次本部
1:13:39	臨界防止機能についてはバスケット
1:13:43	これは
1:13:50	今日、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:58	この臨界防止上、有意な変形が生じないこととしては、
1:14:03	バスケットに、
1:14:08	変形が生じないことを確認するために、
1:14:20	次に除熱機能についてはディー・エヌ・エー、
1:14:25	こちらについては、
1:14:32	16 ページ
1:14:38	振り込み機能の中の幾つか、
1:14:43	PL、
1:14:47	評価基準、
1:14:51	同プラントについては、PL+、
1:15:12	遮へい機能、
1:15:24	とは、
1:15:42	溶接部
1:16:03	臨界防止機能、
1:16:22	登録、
1:16:28	サポート。
1:17:11	続きまして、遮へいに関するところ、指摘事項に関してご説明をさせていただきます。
1:17:22	はい、麻生です。指摘事項No. ファイル、
1:17:27	江藤殿。
1:17:28	資料 1-1 の 17 ページ、江藤関事項ナンバー5。
1:17:32	に関しまして等ですね。
1:17:36	衛藤。これ衛藤フジカワ日比 69 型に特徴的なことである情報チャートの、モデル化の考え方と、規制のタイプです。
1:17:52	説明資料 16-3 の別紙 8 の方に詳細記載して、
1:18:04	解析モデルにおきましては、貯蔵内は、RZ二次元モデルRIS形状を表現できないというところから、燃料集合体とバスケットの
1:18:14	うまくだよ、品質、
1:18:17	ここで線源と遮へい物となる物ウメキ関西というものを考慮するために、江藤の道内に置いて客系方向と、以降、
1:18:27	それぞれ
1:18:28	構造が変わるところで今回、スズキ、
1:18:31	ホデ、衛藤、
1:18:35	その中に含まれている、
1:18:38	その領域のタイプと、そこに含まれるはずである部材の両方、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:51	衛藤上部格子枠に関しましては
1:18:55	設定した燃料領域、
1:18:58	の
1:18:59	境界というものが、衛藤。
1:19:01	18 ページの、
1:19:07	普通の中です紫色で示している領域に戻戻してください。
1:19:13	領域、
1:19:23	上部格子枠、
1:19:29	モデル上考慮するってございます。
1:19:33	少し、
1:19:42	20、19 ページの、どうぞ見ていただきます。
1:19:47	実形状左側に示しております上部格子枠っていうものが、
1:19:52	その下の方に設定した燃料協会と、
1:19:56	いうところを進めているんですけども、これがコンパートメントの断面 で、
1:20:02	それを境界を情報企画に当てはめると 19 ページの右側の図の上側 のような分割の
1:20:12	モデル上は、下側の質問です。
1:20:17	それぞれの領域に対し
1:20:29	参考としまして 20 ページの方に、それぞれ、実際に休日にやった場合 と、今回のモデルを適用しているもの。
1:20:40	ウエダはこの違い。
1:20:42	によって戻った
1:20:48	おっしゃってるの、
1:20:51	あるところに線源となっている、
1:20:55	構造材交渉がません。
1:21:08	10 ページの右側に示していますように、上部投資枠の領域において は、こうして建設した分、
1:21:17	機能強化に適用し、
1:21:28	低い 69 型の斜面の調査においてもその裕度が小さいっていうのが、街 並みなんですけれどもまず、その中央の
1:21:38	このA4 のところから、
1:21:40	17 ページ最後のところに、
1:21:45	射撃の評価に適用しているモデル

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:48	へと情報借金棒では、基本的な考え方に関してとしてあって、ジョブコー チ額からナイトウ 1 では影響
1:22:12	してと思っています。
1:22:14	ではちょっとここまでで、ちょっと、
1:22:16	杉様。
1:22:22	もし、
1:22:32	採用した理由で、
1:22:51	最後に、
1:22:56	行政
1:23:09	データを取得したと。はい。
1:23:13	いろいろなデータを持って、
1:23:19	この内容ってどちらかというと、
1:23:22	証明
1:23:26	では、
1:23:28	規定の中に
1:23:36	透明の中です。
1:23:37	基本方針。
1:23:39	工数
1:23:45	本来、
1:23:47	スズキ
1:23:48	この
1:23:50	規定されてない材料っていうのは、
1:23:53	まずこの
1:23:55	ファイルに沿って、
1:23:57	しっかりこれ、
1:23:58	登録されるべき。
1:24:01	必要に
1:24:25	大学階段。
1:25:00	材料規格、
1:25:29	角谷。
1:25:42	十時から
1:26:03	町、
1:26:09	まず証明ノダ
1:26:17	様。
1:26:29	規定の審査においては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:32	Tall
1:26:36	説明し、その適用妥当性っていうところをあえてまた、
1:26:41	規定の中の審査の中で確認すれば、その審査の流れとしては非常にスムーズにいくのかなと。
1:26:49	入って、
1:26:50	証明の中で、
1:26:52	材料そのものの適用妥当性までは、
1:26:57	見なくてもよく、
1:27:00	あくまでも方針を示して、その更新が、
1:27:03	赤いこの、
1:27:06	規格に規定されてない材料のところを、
1:27:10	次の後段で、
1:27:12	指定を申請する前にまずこの
1:27:22	もしくはその指定の申請を、
1:27:27	する中で、
1:27:29	しっかり鋼材を見るのか。
1:27:32	そこで、福士。
1:27:34	判断の要素があるのかな
1:27:38	アマノマツノさあ、
1:27:40	松野さんちょっと、ちょっとその点は、
1:27:43	その材料の強度については、表明で確定するんじゃない、ないですかある意味でもそうやってますよね。
1:27:54	はどこまで確認するかですけど、本当に本来今、
1:27:58	アルミの話も結構細かくやっていますけども、あれも本来であれば方針をしっかり示してもらえば、
1:28:05	良いとは思ってまして。
1:28:08	はい。ただ、今、今までは、
1:28:10	このザ材料、その材料の規格、
1:28:14	とか、その基準。
1:28:17	許容値っていうのは、
1:28:19	町民の段階で確定させてますよね。
1:28:26	全部、添付アノ賞がついてるじゃないですか。すいません横から
1:28:31	私も考えとしては多分して、そういう細かいところを見ればいいなと思いつつも、今までの、確かに戸田医長の言う通り証明では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:42	成立性見通しとして証明の時点でそういう、この細かいところアルミもそうですけど、
1:28:49	見ちゃっているっていうのも変ですけど見ている。
1:28:53	ていうのは事実であって、本来ダム、こういう細かいところは、松野さんのおっしゃる通り、強いてなんだろうなどは、
1:29:00	思いますちょっと返りが。
1:29:02	多分、型式の最初の証明のときの審査で、やっぱり初出し結構ぎりぎり本当に指定に持ってった時に、成立性がやっぱり立たなくなって駄目に、
1:29:14	なるっていうことを多分懸念したのかなってちょっと思ってます。
1:29:22	事例
1:29:25	を次の新規ある。
1:29:30	明確に定められてない。
1:29:34	DIイダこれもそこでまた同じような、だからここはまだ登録する方法が規定されてその手続きは、やっぱり
1:29:43	そこはそっちで、
1:29:51	含めて、
1:30:01	ある意味、
1:30:25	いけば、
1:31:13	あんだからあれ、今の今までは、あれ証明の段階で、具体的な適用性を説明して、
1:31:24	証明の段階で規格を使ったり、強度を設定するっていうのを、事業者が説明しようと思ってたんだけど、
1:31:34	粗相じゃなくて、
1:31:36	もうこの学会にちゃんと申請して、そういうして、具体的なこの規格の適用性を、
1:31:45	確定させるっていうですねそういうやり方もあると思うので、
1:31:50	後者の場合だと、後、表面の段階では更新を示してもらって、具体的には、指定の段階で確定するっていう、
1:32:01	やり方も取れるかもしれないんですけど、いずれにしても、その事業者がどちらの方でやろうと思っているのかですね、それは、
1:32:10	この証明の段階ではっきりさせる必要があるんじゃないかと思います。
1:32:42	聞こえてましたか。
1:32:50	はい。
1:32:57	材料規格、
1:33:11	いう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:12	うん。
1:33:19	正面
1:33:25	使える。
1:33:28	経過
1:33:37	規制庁のトガサキで、具体的に、
1:33:41	学会の
1:33:44	あれですね。
1:33:46	やり方でデータ取って、それが学会にこういう認めてもらうっていうのを今後やるっていうことですか。
1:34:00	今、
1:34:04	審査というのはどこでやるのかが、今私もよくわかんなかった。ここでなのか。
1:34:10	すめでやってもらうのか。
1:34:12	進めていくか。
1:34:56	規制庁マツノ。
1:34:58	その辺多分いろいろやり方もある。
1:35:03	そのやりか
1:35:07	それに
1:35:11	する。
1:35:16	その
1:35:17	同様の
1:35:24	だから素行、今回
1:35:27	D69 型の照明。
1:35:32	どの程度その審査、
1:35:35	かける。
1:35:38	当然、
1:35:39	内容的には規定でしっかり確認する。
1:35:44	安井。
1:35:47	そ、そこは再度、
1:35:50	いろんな多分いくつかやり方がありますので、ちょっとそこはもう一度、
1:35:57	ある程度その方針が決まったら、
1:36:00	またこちらの方、
1:36:05	していただけますそれに応じた、
1:36:08	審査をしますもしこれ証明の中で全部審査するとなれば、当然それなりのまた審査機関なり、体制が必要なので、それなりに対応の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:18	審査機関が
1:36:19	必要になってくる。
1:36:20	それも
1:36:26	検討していた。
1:36:29	トガサキさん、睡魔ああせアノ。
1:36:33	どうぞ。
1:36:35	すいません。
1:36:36	刀禰。
1:36:38	ちょっとレベル違うかもわかんないですけども、或いはちょっとく特集のような気がするんですけどね。
1:36:47	一つの例前例としてね、すでに特定兼用の中で、要は、日立がボロンステンレス、確かあれは号炉ステンレスを構造材としても出し、
1:37:01	何だ、要は未臨界防止機能をね、維持するための中性子毒物としてのっていうことのように記憶しているんですけども。
1:37:10	あの時どうだったかっていうことで、置かれてる環境がね、どうなのかなというのは、要は、どこまで、
1:37:22	私の記憶の限りでは、ボロン線率ってASTMにはね、規格があるんですけども、
1:37:29	それに対して、こちらのその申請の、
1:37:34	どういうんですねプロセスの中でどうしたかっていうのを見て、それに倣えばいいのかなという気はしています。
1:37:42	もちろん、もちろんもともとの扱ってというのは、昔の材料と国みたいなものに該当するんじゃないのっていうところからきてると思うんですけども、
1:37:54	当然そのやり方であれば、プロセスとして、要は並行して新規、新規材料、ガイドラインですかね、あれに従って、
1:38:09	材料分科会に審議いただいて、どうだということで、要はその中で材料の中で使えるものって、
1:38:19	多分それって多分解釈とかその辺の方にも何か瀬野鷺見はいすいません。要は金属キャスク構造規格云々のところで
1:38:30	等に従った何とかってのが確か記載されてると思いますので、一つの例としては、ボロン添加ステンレスこうかなと思います。
1:38:41	はい。以上です。
1:38:48	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:49	いずれにしても、この金の質問のナンバー2ですか、その回答として、S G20、295 を使うこと理由と、
1:39:02	妥当性の説明が必要になりますので、この回答の中で、
1:39:09	触れてもらう必要があると思います。まだ検討中だったら、検討中、言ってもらってもいいんですけど、その検討が終わらない限りは故障証明っていうのは、ご審査終わらないと思いますので、
1:39:22	方針は、事業者の方で、
1:39:27	できるだけ決めてもらった方がいいんじゃないかと思います。
1:39:30	以上です。
1:39:36	すいません。
1:39:37	一つ、あれなんですけども、ここでね、角企画の考慮つつってからこう書かれてるんですけども、
1:39:45	あくまでも、どうですかね聞く。
1:39:49	あくまでこういう、
1:39:50	原子炉、原子力構造機器のね、規格っていうことで、あくまでもプラントの方であれば設計建設規格があるし、キャスクは金属キャスク構造規格あるし、
1:40:03	その中で材料規格でバーして、やり方とか何とかあるんで、何でここに遊びが出てくるのかなという気がするんですけどこれ書かれたり言ってるんだなという気がするんでしょうか。
1:40:16	館造成の岡田です。
1:40:18	こちらに関しては審査の中で少し厚めの方も確認しておいた方がっていうようなコメントをいただいておりますので、
1:40:25	ちょっと確認して原子力
1:40:29	規制委員会の何か材料、
1:40:35	評価の中で
1:40:37	記載も増えておりますので、これは問題ない材料ですよというふうに書かせていただきました。少し審査の方で気にされてる方がおりましたので、触れさせていただきました。
1:40:46	以上で、
1:40:49	はい。
1:40:52	はい、わかりました。
1:40:54	ただおんなじところじゃないような気がしますけどね。ということだけもうすぐ添えておきます。
1:41:00	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:02	この件については以上です。
1:41:05	岸次長のトガサキですちょっとその件について、
1:41:11	14 ページのところなんですけど、
1:41:16	14 ページの
1:41:19	さ、二つ目のポツの最後の 2 行なんですけど、
1:41:24	フランジ等のひずみが大きく影響するものの考慮についてはバスケット格子に使用する材料であり、該当しないっていうのは、
1:41:34	何で該当しないのかっていうのを、もう少し具体的に教えてもらいたいですけど。
1:41:42	日立造船の方です。こちらの補足説明資料 16 の、
1:41:48	うちの、
1:41:49	別紙の、
1:42:00	別紙 3 の 3 ページになるんですが、
1:42:02	このフランジの変形。
1:42:08	爪で考慮している内容というのが、フランジ部というのはもう密封シール部ですねこれは
1:42:15	何ですかその原子力機器にかかわらず圧力容器関係で、フランジ部というのは、シール部がとても重要ですので、そちらの変形があれば、漏れが生じるということで、
1:42:27	はいわざわざのフランジ部というふうに特定しているというふうに我々は理解しております。
1:42:33	このフランジ等のひずみが大きく影響するものというのは、ですから許容値を下げることによって、そういった布施ビジョンの変形等も考慮してるといふふうに我々理解しております。
1:42:46	ですからば一方でバスケットコースというのは、弾性範囲内であれば、連携は許されていると、これは
1:42:54	の範囲内で変形は特に問題ないと。ですから多少バスケットの変形が生じて、
1:43:02	弾性変形しても、戻るしですから隙間ですねそういった隙間の密封バスケット
1:43:10	密封のシールだったり、そういったところを考慮する部材というのはございませんので、
1:43:15	そういう意味で、フランジとは違くと、ですからフランジ等の変形が二重漏えい性に影響を及ぼす可能性がある部位ということではないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:24	判断しまして、フランジ等のひずみが大きく影響するものという記載のものには該当しないと。
1:43:30	考えております。
1:43:33	規制庁納トガサキですけど別紙 3-3 のこのフランジ等の変形が耐漏えい性に影響を及ぼす可能性がある部位では、
1:43:44	っていうのは、
1:43:47	ガイドラインには何か書かれているんですか。
1:43:53	要は、密封性のところに、
1:43:57	影響があるものは該当するけど、そういう委員会の中で、変形。
1:44:02	ですね。
1:44:03	変形
1:44:06	弾性範囲に入るものっていうのは対象外だっていうのは、そのガイドラインでわかるような記載になってるんですか。
1:44:17	はい。日立造船の岡田です。特にはそういったものはございませんでガイドラインに書かれているものが、こちらの別紙 3-3 に記載している。
1:44:27	ところですね
1:44:29	具体的には、しかしながら集めや、JISB8267 では、Vthe除く材料の共同力の輸出設定方法について、オーステナイト系ステンレス高として 2 種類の協力。
1:44:41	雇用力Sを示し、フランジ等のひずみが大きく影響するものには、高いほうの値を用いるべきない旨、規定しているというような表現をしております。
1:44:51	こちらの対象は原子力機器という、限定したものではなくJISB八十六、七ということで、化学プラントの圧力容器だったり、対処と、さらに集めに関しましても、
1:45:03	原子力機器セクションⅢですかではないだけではなくて、セクションだったりも考慮して、確かに圧力容器の設計に関しましては、フランジ部、特に
1:45:15	やはり漏えいですね
1:45:18	そういった原子力のようなその機密漏えいというものではございませんが、
1:45:24	このプラントのなんつうか
1:45:28	13 だったり強い賛成のものが漏れたりとかそういった部分で、シール部にはこういった適用すると。
1:45:35	いうふうに理解し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:37	一方で、お話ありました通り、臨界防止という観点であるのでは、臨界防止はこちら別の議論あったと思うんですが、弾性範囲内の変形であれば、
1:45:49	市の
1:45:52	配置等は、変わらないということで影響ないと、ですから塑性変形。
1:45:57	でなければということで、
1:45:59	ありますので、こちらの方は適用されないというふうに考えております。
1:46:06	規制庁のトガサキで差だ。ですから、このガイドラインでは、ひずみが大きく影響するものには、
1:46:14	しか書いてないと思うんですけど、
1:46:18	ただそのひずみですねひずみが大きく影響というのは、だから、
1:46:22	ひずんで、だから、
1:46:26	やっぱり変形して、或いは漏えいが起きたりとかってということなんですけど、だからやっぱり、委員会でも、変形が大きいと、
1:46:37	あれですね臨界性影響ありますよね。
1:46:41	それは、
1:46:43	このガイドラインのひずみが大きく影響するものには、
1:46:48	当てはまらないというのは、事業者の解釈ということでよろしいですか。
1:46:53	はい。日立造船の方です具体的にフランジ等の歪というふうに書かれておりますので、はい。事業所我々として、フランジ等という判断で、はい。解釈しております。
1:47:04	それ以上の解釈は特にこのガイドラインには記載はございません。はい、わかりました。すいません。これで、このだと例えばこのフランジ等のひずみが大きく影響するもの。
1:47:14	今高いほうの値っていうのは、この
1:47:18	2種類のベースの、
1:47:21	赤い方っていうのは、あれ、Su。
1:47:24	とかISIとか、
1:47:26	そのことを言ってるんですか。
1:47:30	日立造船の形こちらはですね技術評価の中で影響力許容引張応力Sの設定方法についてということですので、
1:47:41	STについての根拠、
1:47:44	職権
1:47:45	内容となってる。
1:47:49	Sの設定方法というふうに書かれております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:54	すいません
1:47:56	それで今回だから、
1:48:00	佐治造船では、その高いのと低いのは、どちらを使ってるんですか。
1:49:02	はい日立造船の岡田です。こちらはですね、
1:49:07	別紙の3の、
1:49:11	3の5ページになります。
1:49:15	設計応力強さのSC一設定に関しましては特に高い方という理解で、特にこういった制限をするものというような、
1:49:28	平均を制限するといったような制限はもう設けず、こちらの設定方法に従って設定
1:49:36	ですから特に逆に低い方という観点では、設定おらず、規格に従って設定しておると。
1:49:43	設定しております。
1:49:47	はい。
1:49:49	そういうことがわかる記述がどっかにあった方がいいと思うんですけど別紙3-3で、だからあれですよ
1:49:58	アースアノガイドラインにはそういうふうに高い方の値っていうのは、
1:50:03	非フランジ等のひずみが大きくなるようなものについて、
1:50:10	用いるべきではない。
1:50:13	用いるべきではないっていいですか、高い。
1:50:17	コウノあたりを、
1:50:19	を用いれば経由ないって書いてある。
1:50:22	ので、
1:50:24	あれですか今回、
1:50:27	佐治導線の材料はそれに該当しないから、高いほうの値を用いてるってことなんですか。
1:50:34	はい。日立造船の方で結果としては高い方というふうに用いているという解釈になるかなと思います。はい。逆に低いほうの制限は設けてないと。
1:50:47	そういうことですか。
1:50:58	厚めの幸田と衛藤高井銀行という
1:51:04	それ、
1:51:20	はい。いやだから、技術評価のガイドラインで集めには高いゴトウー5があって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:28	フランジ等は高い方の値を用いるべきではないと書いてあるってことですか。
1:51:39	この日立造船の材料は、
1:51:43	低いほうの値を使っているところですか。
1:51:51	江藤斎藤線の材料としましては新規材料採用ガイドラインに従って、戸谷。
1:51:58	衛藤。
1:52:00	ところでの衛藤考慮はしていないという
1:52:05	そうそうなんですか。
1:52:08	新規ガイドラインでは、高疋田海宝低い方でなく、なくて、
1:52:14	厚めの高い方と低い方でいうとどちらの方になるんですか。
1:52:44	このあれか別紙3の事を、3-6を比較すればわかるんですかね。
1:52:57	開けて送る前の通りだと。
1:53:02	同じでは米田ホデそうですね資産の部の、この※1の注記がそれに該当するというふうに我々考えておりまして、そのの、
1:53:14	オーソライズ線ですとか、こういったものは提供力通訳オクの3分の2を超えるが0.9Lとハーフ辛口はわずかに高い、変形自体が好ましくない場合のみ使用する必要があると。
1:53:26	ですからこちらでは、この判断が入ってるんですけど、
1:53:32	二つ目には入ってないというふうに理解しております。
1:53:37	はい。
1:53:39	すいませんちょっと*1っていうのは、
1:53:43	別紙3の6の*1っていうのはどこにかかっているんですか。
1:53:50	これが、
1:53:56	そういうちょっと確認これはちょっと、
1:54:28	すいませんちょっと後で結構なんでちょっと尾を教えてくださいませんか。
1:54:36	日立造船岡田ですはいまた確認させていただきます。はい。
1:54:41	はい。
1:54:42	あとですね
1:54:45	この14ページのパートの14ページの臨界防止の下の安全機能への影響のところなんですけど、
1:54:55	これは
1:54:58	このアノtheうそ知恵別の組成の話をしてるんですけど、
1:55:04	この、だから、有意な変形ですよ。有意な変形はしないっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:12	要求されてると思うんですけどそれに対しては影響はあるんですかな。ないんですか。
1:55:20	はい。日立造船の方です。これは材料、このSG295 台、またSG材等にかかわらず、結局のところ構造評価で、そういった臨界防止、
1:55:33	対して、有意な変形がないことを確認するという、その許容値を使って設計をして、問題ないことが確認できれば、委員会の場影響ないという
1:55:43	考えでおります。ですからこれは材料特有のものではなくて、結局この、
1:55:49	構造強度評価をした上で、問題があるかどうかというところになると。ですから、
1:55:54	行動評価。
1:55:55	その部分、
1:55:58	られた強度に基づいて、成立する設計となれば問題
1:56:06	わかりました。
1:56:08	その下の、
1:56:10	車系は、
1:56:12	或いは遮へいの設計でってですか。
1:56:21	の設計でって書いてあんですけど。
1:56:36	パワポの 14 ページの一下の表の、
1:56:41	遮へい機能のところ、
1:56:43	その評価の設計でって書いてあんですけど、
1:56:48	その前に車車系っていうのは入るんですか。
1:57:10	聞こえてますか。
1:57:12	すいませんはい。構造強度の設計ということでご理解いただければと思います。こちらも同じく臨界等の構造強度ですか。強度が問題なければ、遮へい機能上問題。
1:57:26	じゃあそれ追加しますか。
1:57:28	追加させてください。
1:57:30	はい。お願いします。
1:57:33	こちらについては以上なんですけど、まず、他のところ、
1:57:39	他にもちょっと質問あるんですけど先にお願います。はい。私の方から、
1:57:49	理事コウノ
1:57:54	計上とモデルの。
1:57:57	説明があって、
1:57:59	左側に 10 形状の断面イメージがあるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:03	この断面イメージと、
1:58:05	例えば 10 ページ目のところの、
1:58:08	これ描かれてるんですけど、
1:58:12	これを、
1:58:17	例えば 18 ページ目のこの燃料上部構造材っていうところは、
1:58:23	10 ページ目でいうと、
1:58:27	上部構造体。
1:58:29	Androidで、
1:58:33	センターです。
1:58:37	ページ目と加古常務。
1:58:39	はい。
1:58:40	グループで、
1:58:43	十分、
1:58:46	ハンドル
1:59:04	の東端グループと、
1:59:10	いや、衛藤。
1:59:12	衛藤。
1:59:13	本庄さんですね上部構造材設定、まとめてから
1:59:18	ここのこの図上ははい。
1:59:21	伴部分も含めての衛藤。
1:59:35	左の 10 ページ目の絵ってこれ、
1:59:44	名称は違うけど、同じ意味という。
1:59:55	この上部格子枠。
2:00:11	名称の、
2:00:13	方がちょっと、
2:00:14	違ってたので、
2:00:22	ちょっと資料の中で衛藤補佐、あとすいません江藤燃料上部構造材として、ハンドルを含めて含めてないかと。
2:00:31	構造材のカトウとか、
2:00:33	ちょっと名称の統一がとれていないところがございますのでちょっとそちらは、
2:00:37	誤解のないように
2:01:24	これ、
2:01:32	大好きはまず違います。衛藤。
2:01:35	諏訪、この領域で検査した。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:39	もう原則に
2:01:42	長崎。
2:01:50	久米のものです。
2:01:53	衛藤。
2:01:59	安孫子。
2:02:01	ちょっと具体と言うニュアンスは、
2:02:06	真木常務、喜多者というような
2:02:13	衛藤
2:02:15	形状にこだわってないというイメージではござい
2:02:22	それでの言葉の、
2:02:23	使い分けでこう、
2:02:25	絵で示しておく。
2:02:30	淘汰。
2:02:32	今
2:02:34	緑の枠の中について、緑の色づけたところとかを見ていて、
2:02:40	どう
2:02:41	あれ
2:02:51	をそちらの、
2:02:52	いた板状のものなんですけど、
2:03:00	タイミング
2:03:14	ちょっとイメージ
2:03:17	の 1、
2:03:28	キャップの内側にアノ水源となり、尿中 5 台の上部構造材。
2:03:35	たまって、
2:03:37	戸川の方に、
2:03:52	部材がこの
2:04:01	材料の名称。
2:04:09	そうですね。
2:04:10	実はその委託も、
2:04:24	一応この説明文がしっかりこの 2 項、
2:04:27	表現されてるかかどうかというところは、僕はちゃんと一つ一つの要望が 使い分けられてるかということで、
2:04:33	なければ、
2:04:39	そう。
2:04:41	19

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:46	0 があって、実際これ、
2:04:51	ずっと下アリマ重要重量の軽減
2:05:05	これ 10 重要軽減。
2:05:07	きてるっていう。
2:05:09	説明。
2:05:10	でも、
2:05:11	この絵が、
2:05:14	頭でとらえてる。
2:05:17	イメージでしかない。
2:05:18	衛藤。
2:05:21	本来、この程度の、このような形で存在している。
2:05:25	を呈するところを、
2:05:29	モデル上は、さっき、
2:05:47	今のマツノNoからの質問で、この絵のくくり。
2:05:53	等、
2:05:55	量のくくりが、
2:05:57	左側の図上側に入るんですよね。
2:06:01	違う。
2:06:03	左側の、
2:06:05	仲條分 500 のこうこう丸運の若生二つ、二つ縦に並んでるやつは上に入るんですか。
2:06:15	例えば別紙、補足説明資料の別紙 8-2 と、
2:06:20	8-2 の図と別紙 8-3 図で、その下に、
2:06:26	別紙 8-4 ページですけど、別紙 8-1 表があって、
2:06:31	このkg数ですっていうのがあるんですけど、
2:06:38	このkg数は、
2:06:42	概要バワポのこの右側の上と下で囲ってある部分で、
2:06:48	見るってことなんです。
2:06:51	補足説明資料の
2:06:54	四つのバスバスケットの
2:06:58	悪い。
2:07:00	この関係が話し合い、
2:07:02	いまいちよくわかってなくてですね。
2:07:05	軽いから重いから何を言いたいのかなっていうのがちょっとこっちの 8-1 の文章を読んでもちょっといまいちよくわかんなかった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:15	というのがあってすみません。
2:07:21	衛藤、この
2:07:22	資料 8 の中出衛藤。
2:07:25	この別紙 8-2 図
2:07:27	が、当間常務。
2:07:32	その燃料協会、
2:07:34	宣言をクルー
2:07:41	等、
2:07:42	そこで定義したものに従って江藤情報社長を分けるとすると、ベッショ、
2:07:50	衛藤。
2:07:52	それ。
2:07:53	に対して江藤まで橋野さん。
2:07:55	が、モデル上は、円礫に関しては、
2:08:11	8 の図はリアルなあ。
2:08:13	図で、バスケット場所と真ん中の営業領域っていうのを出してまして、下の 8-3 図っていうのはモデル図ってことなの。
2:08:23	モデル図でいうと、モデル図といいますと、どっちかって
2:08:31	その前のページ、
2:08:32	もう別紙 8-1 図
2:08:34	そのものになるんですけど、
2:08:36	ここの紫のところと、衛藤、緑のところというのが、上部格子枠の建設、
2:08:45	生まれている研修等を考慮する。
2:08:47	領域でございまして、
2:08:51	紫と緑それぞれに、
2:08:55	はい。
2:08:56	イメージとしては別紙の 8-3 図。
2:09:00	形で、存在しているようなものを均質化して、
2:09:08	規制庁ホデですけどね、7 性格からわかんないんじゃないですかこれ、要は文章でね、明確に書いたらいいじゃないですか。要は校長講師枠と、
2:09:18	その上部格子若菜で、この
2:09:24	この 19 ページに書かれてるねこの左の補足説明資料の一番左側の絵にしてもね、何が言いたいのかわかんないこれ。
2:09:33	私の理解が足りないのかもしれないけどわかんないし、むしろそういうことであれば文章であれば、この上部、上部格子枠の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:43	要はその遮へいモデル、今どういう会社解析モデルにおいて上部格子枠はコレコレコレコレでってということで、ここで書かれているようなね、形で
2:09:53	要はもう、要は周囲の何とかを考慮し、とかねナカはナカはその燃料領域分のなんちゃらを何か、
2:10:04	無視する等だからね、全体の重量を、
2:10:09	実形状に対して低めに設定し、遮へい能力なりね、要はあれですよ。ここ燃料領域んとこ、このようなモデル化したってということはね、これ自己、自己遮へい効果をね、低減させてるってということと、
2:10:24	上方向への、ジコホウコウノ者町5号の社員聞くのかどうか知らないけれども、この領域においてね、要は実際のものよりも、
2:10:37	この中での何だ、こういうとあれか、
2:10:43	と減衰、イエス低く減衰が減衰しないようにモデル化してるわけですよ。ねこれね、その旨を文章に書いた方が、むしろ、
2:10:54	絵を書くんだったらAAに対して丁寧な説明をしなきゃ駄目だと思います。何となくこういう絵を書いたらみんな理解するだろうというような感じで、展開されてるような感じがするので、
2:11:08	要は、十分な説明をした上で、この図のが理解できるような形でやらないといけないと思うし、そうでなければ、この部分のモデル化についてってということととかくしかじかでこのような形を考えた。と。
2:11:21	それは通常の輸送の遮へい解析でもそうでしょうし、文章書かれてて、このような構造をね、理解してもらおうという気持ちはわかるんだけど、
2:11:33	だけど、その構造を理解してもらおうという上では丁寧な説明必要かもしれないけど、モデル化においては実形状に対して何々を無視するとかね、何々を考慮しない等のことをしたということでその、その保守側の効果っていうことを明確に説明すればいいように思うんですけども、いかがでしょうか。
2:11:54	深津先生ありがとうございます。
2:12:02	のように、
2:12:27	多分絵だけではなくて、文字でもちゃんと説明した方がコストにした方がいいというところで、
2:12:33	そこは補足に書かれてるんであればそこポイントをパワーポイントと落とし込む。
2:12:42	衛藤見ますと、今、特に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:45	資料の別紙 8 に、
2:12:47	文章としては、置き換えている
2:12:50	衛藤、
2:12:52	宗。
2:12:53	ここの部分をむしろ、パワーポイント資料の方にも、もう少し、
2:13:10	ちょっと、
2:13:23	四方。
2:13:25	はい。
2:13:28	資料。
2:13:31	すいません。衛藤。
2:13:33	衛藤検討し、
2:13:43	何これ 18 ページ。
2:13:50	これは、
2:13:52	そのものが、
2:13:54	公開であって、
2:13:57	こういう 18 ページ目の創造
2:14:06	そうですねそのものモデル図。
2:14:09	目どうする。
2:14:11	厳密につて
2:14:13	続けてタケダ目に見えて、
2:14:14	に関しましては、当間部分、
2:14:18	もう、
2:14:28	具体的な形状に絡むところとモデルに絡むところは、江藤岡井。
2:14:42	以上です。
2:14:50	瀬谷。
2:14:52	どうぞどうぞ。
2:14:53	ちょっと際、
2:14:55	最初の方に戻るんですけども、
2:14:58	あのね、
2:15:02	まず、メリットの話なんですけども、13 ページ。
2:15:10	パワポ資料の 13 ページですけども、ここの説明って、クランプ構造は、
2:15:20	バスバス及びクランプの各部品に行って書かれてて、
2:15:25	頭のところの説明が、
2:15:28	バツバツ。
2:15:29	という説明になってんだけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:34	と、
2:15:35	右の絵を見るとね、それと逆の説明になってるような気がするんで、文章あってと思うんですけども。
2:15:42	サポートプレートって書かれていますよね。
2:15:45	で、
2:15:47	×ばⅡを指してるやつをプラントさせるのが逆じゃないかなと思うんですけど。
2:15:53	どうですか。
2:15:57	の方ですねはい。はい。間違いねこれ。
2:16:03	ご理解通りです。はい。
2:16:05	はい。はいじゃ直してください。
2:16:07	ねえ。ここはあれなんだけど。
2:16:15	非常に難しい。
2:16:17	微妙な話なんですけれども、14 ページのね
2:16:24	下の安全機能への影響ってこう書かれているところで、
2:16:30	別に、
2:16:33	られた強度データに基づき貯蔵時だけでなく輸送時の荷重条件に対しても成立する設計であることか。
2:16:41	そうなることを確認つつたら、どう確認したのってから聞かざるをえないと思うので、本当にこの輸送時っていうの今いるかなっていうのはちょっと疑問に思います。
2:16:50	方針であれば、設計とすることになると思うんですけどね。
2:16:54	除熱も一緒ですよ。例えば、
2:17:00	貯蔵時って言えばそのある温度条件なり、圧力条件なり、いろいろ設定して、この中で、16 条適合性のところでいろいろ説明されてると思うんですけども、その話してないのに、
2:17:13	エコ、これ書かれると、どうしても、じゃあどう、どのように確認したのって、持つんでしょけどもこれ構造的に考えても、いろんな事情を考えても、そんなに
2:17:27	どういうんすかね。かなりキャスクの全体の重量がかかるようなところでもないし、
2:17:33	せいぜいかかってもバスケット自重横にすれば、燃料の自重っていうことでなると思いますので、それほど大きい問題はないと思うんですけども、あまりここで

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:45	ミヤザキてしまうと、じゃあそれ具体的に示してねなると思うので、それを任せますけども、ちょっと表現をちょっと工夫された方がいいんじゃないかなと思います。
2:17:58	あとがね、
2:18:05	ここの今までのご説明ではちょっと、ちょっとエディットとか日本語のところでちょっと引っかかったのは以上です。はい。すいません。
2:18:13	はい、日立造船からです。どうもありがとうございました検討させていただきます。
2:18:18	非常に見直したいと思います。ありがとうございました。
2:18:24	規制庁の田崎ですけど、パワポの 12 ページの、
2:18:30	クランプ構造の一番下のポツなんですけど、
2:18:36	この通常取り扱い時と、特別な試験条件化の話があるんですけど、
2:18:43	この通常取り扱い時の中には、
2:18:47	地震時という、地震とか津波とか竜巻とか、
2:18:51	あと、四つの安全機能も含まれるんですか。
2:19:18	はい。日立造船の方ですこちらは通常取り扱い時にはツジ津波とは含まれており、
2:19:28	含まれないんですか。
2:19:30	要はですね 10、13 ページの、
2:19:34	下の方にモデル化ばね要素っていうのがありますよね。
2:19:40	これD評価。
2:19:43	の対象になってるかどうかなんですけど、だからその、
2:19:48	先ほどの例えば臨界バスケットだから臨界ですよ、臨界については、有意な変形が生じないということを確認する、するんですけど、
2:19:58	このらん部分も、評価対象になってるんですか。
2:20:33	堆積要素。
2:20:44	規制庁の統括ですけど、
2:20:50	12 ページのだから、通常時とか、
2:20:55	特別の試験条件下では変位を制限するんですよ。
2:21:00	だから解析では、このクランプっていうのを考慮してるじゃないですか。
2:21:13	してしてるんですか。はい。
2:21:16	で、だから、その 13 ページのそのばね要素としてモデル化してるんですか。はい。
2:21:24	で、規制庁の高崎です。
2:21:26	備品とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:29	津波とか竜巻とかの時に、
2:21:33	あれですよね変位が生じないかっていう、
2:21:38	ほど確認するための、
2:21:41	評価では考慮してるんですか。
2:21:46	少々お待ちください。
2:21:57	日立造船の樋口でございます。
2:21:59	津波、
2:22:02	津波竜巻の評価に関しましては、交付バスケットに
2:22:13	MICEIT化、
2:22:19	考慮はされておられません。
2:22:25	規制庁のトガサキです考慮する必要はないんですか。
2:22:29	はい。日立造船の樋口でございます。
2:22:36	新宅さん竜巻か。
2:22:40	バスケット自体は、
2:22:46	評価する
2:23:11	慶弔度でそうするとこの 13 ページのこのモデル化してるってのは、どの評価でモデル化してるんですか。
2:23:29	鉄道県の樋口でございます。この評価は、
2:23:33	通常輸送時や特別の試験条件カトウで、
2:23:36	の評価対象として、バネ要素として取り込んでると。
2:23:44	規制庁のトガサキです。そうするとすみません
2:23:48	通常取り扱い時っていうのはその 1メートル落下とかっていうことなんですか。
2:24:10	日立造船の樋口でございます。通常取り扱いというのは、
2:24:14	燃料を装荷したりとか、
2:24:21	業務の方に、
2:24:30	要は、
2:24:33	工場や、
2:24:36	今日惣田前野。
2:24:41	規制庁のトガサキです
2:24:44	この確か構造強度の計算というのは、供用状態AB、Dの評価っていうのもあると思うんですけど、
2:24:55	その中のAとかそのつかやってないということなんですか。
2:25:00	Dは評価をしてないってことなんですか。
2:25:05	鉄道線のヒグチでございます。この通常取り扱い時というのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:11	言葉自体は、
2:25:12	ちょっとABC
2:25:15	共用してない状態なので、
2:25:17	供用状態
2:25:20	で、
2:25:23	評価としましては、
2:25:25	共助、
2:25:33	ちょっと規制庁の高崎です。
2:25:36	藺田から
2:25:39	構造アノか、共同というのはあれですね、沖アノ金属キャスクの沖規格に基づいて、その供用状態ABCDでやると思うんですけど、
2:25:50	別途地震津波竜巻っていうのは、猪長造の基告示で評価されると思うんですけど、
2:26:00	先ほどの説明だと、
2:26:02	ちょうどその告示の方では、
2:26:06	ナカアノ光学式の計算でやってるから、このクランプ分はここ考慮してなくて、
2:26:13	この機械、金属規格に基づく評価では考慮して、しているのかしてないのかってのがわからなかったんですけど。
2:26:35	藤。
2:27:05	基本的には全部圧縮単純な
2:27:09	はい。
2:27:11	そちらの方がわかりましただからそちらの方ではなくて、この13ページのバスケット構造強度解析っていうのは、金属規格に基づいてやるわけですよ。はい、そうです。
2:27:26	その中でABCDってありますよね。はい。
2:27:29	何で通常状態だけなんですかっていうことです。
2:27:39	くらん
2:28:19	現状、
2:28:34	従って、
2:28:50	そうです。
2:29:05	アノだから、その輸送はわかったんですけど輸送ではなくて、
2:29:11	機器貯蔵中の金属球キャスクの、に基づく構造共同評価をやられますよね。
2:29:23	その貯蔵の金属後、構造規格に基づく解析では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:29	このアノばね要素っていうのは、
2:29:34	考慮してないんですか。
2:29:46	だから、この地震津波竜巻と構造強度って別、別々に評価してますよね。
2:29:55	はい。
2:30:02	地震、地震だけじゃなくてアジアの輸送だけじゃなくて、
2:30:07	構造強度っていうんっていうのは、町道の状態。
2:30:13	ちょうどだから、その貯蔵のために取り扱って、ぶつけるとか落とすとかそういう評価も入ってますよね。
2:30:22	金属構造キャスクの規格の中には、
2:30:27	輸送、輸送だけではないでしょうね。
2:30:33	ちょっといずれにしても 10、13 ページのバスケットの構造強度解析っていうのが、どんなに度のあれですね。
2:30:43	解析なのか、それとこのモデルってのはどういうモデルなのかっていうの説明、次回以降で説明してもらえますか。
2:30:54	はい。日立造船の小形です。ちょっと今いろいろはいコメントいただきありがとうございます。どうも水私自身が
2:31:04	輸送とちょうどですねそういうところを区別IIこのちよつともとの説明がちよつと輸送も含めた、このクラウド自体の考え方の説明でしたので、
2:31:15	輸送貯蔵という観点も含めて整理して、また説明させていただきます。ありがとうございます。
2:31:22	はい。お願いします。あとですね。はい。
2:31:25	どうぞ。
2:31:28	まずね、この、ここで言うクランプがね、バスケットの中でどういうふうな機能を持ってるのかっていうこととそれの安全機能の、能勢安全機能にか対する影響。
2:31:41	例えば、
2:31:42	先ほどナカが脱落するとかしないとかっていう話ありましたけども、構造を踏まえてどういう機能を持って、オカ、
2:31:51	だから、例えば、
2:31:54	それに対して荷重がこういうふうにか、いろんな関わり方をすると思うんですけども、
2:32:01	輸送の話そんな、先ほど言いましたけどあんまりね、事言う必要はなくて、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:07	貯蔵で、あれ、あれこれやってるところで、基本的には考えてませんっていうことで、
2:32:15	ここの説明はね。それで、
2:32:19	まずは、そこをしっかりとそこっていうか、機能を踏まえて、どのような荷重がかかって、
2:32:26	時にこういうことかかるけどもこれを防ぐものですかね。
2:32:29	実際これ関係ありませんとかね。
2:32:32	もうこれオオクボですかね。
2:32:34	なんかその辺がね、ちゃんと。
2:32:36	機能にね、立脚して説明せずにいきなり、あの補足説明資料見ても、クランプ構造はうやむやってこう構造の説明されてるんですけども、何のためにやるのっていうところからまずスタートしないと、これわかんないと思いますよ。
2:32:49	で、郵送だったら郵送で、なんで、例えば、
2:32:56	つつ、津波とかね、先ほど竜巻とか、
2:33:01	外部事象に対してね、関係なくて救命たら考えて何でこれ考えなくていいのとかね。
2:33:06	それぞれ幾つあると思うんですけどもね。何かそういう疑問をねどんどんどんどん出てくると思うんですね。ですから、
2:33:14	機能と荷重のかかり方っていうことをね、少し丁寧に説明された方がいいんじゃないかと思います。一応私の方は以上です。
2:33:24	はい。佐治造成の方です。どうもありがとうございます。もともとですすみませんここは最初の説明の時に、50人の流れで50人の設計思想から説明させて、
2:33:34	いただいた部分もあり、そこでいろいろとこちらの審査の方ではないんですけど、いろいろ議論させていただいた内容でしたので、ちょっとそこから入ったっていうところがございました。
2:33:46	ですからちょっと説明としては、ちょっとその前提がありましたので、ちょっと
2:33:51	やり貯蔵の観点ということで説明させていただければと、まずね、整理させて。
2:33:56	し直させていただければと思います。ありがとうございます。はい。はい。
2:34:03	規制庁のトガサキです後ですね。
2:34:05	20、パワポの20ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:08	図のところなんですけど、
2:34:11	これの
2:34:13	青い線と、
2:34:15	あの通り駅の線は、
2:34:19	その前のページ、
2:34:22	もう、それぞれ設定した燃料領域評価に基づく場合っていうのと、遮へい金の評価に適用する場合の評価結果っていう、
2:34:33	こういうふう理解してもよろしいんですか。
2:34:36	正当性、
2:34:40	規制庁のトガサキですけどこれは、
2:34:43	申請書の遮へい設計の結果、
2:34:49	との関係はどうなってるんですか。
2:35:09	この
2:35:11	フタミと、
2:35:20	規制庁能登トガサキです。はい、わかりましたそれで、
2:35:27	要はですねこれ、かなり運営の部分って、線量高く高いですよ。
2:35:34	これは
2:35:36	ここの部分の三つの
2:35:41	材料が少ないということがまず影響してるんですか。
2:35:46	この図の中で上の方。
2:35:50	クレーン。
2:35:59	基本、
2:36:05	セにおいて、
2:36:08	斜め方向に、
2:36:12	まずイシダアガワ方向になりますと、江藤遮へい材を斜めに、
2:36:33	が、
2:36:42	規制庁のトガサキですけど、
2:36:56	を、規制庁トガサキですけどこれはあくまでも、この 20 ページってのは構造材の放射化ガンマ線の影響を、
2:37:05	示してるんですか。
2:37:07	そうすると、
2:37:11	規制庁のところ、トガサキです。その構造材というのは、
2:37:17	あれですねバス血糖の構造材。
2:37:20	も含んでるんですか。
2:37:25	県として行っている構造材こうした方が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:27	カワセの宣言は、
2:37:30	集合体の上部構造
2:37:32	及び
2:37:36	資料の方に、
2:37:43	いるところの端末構造材、大坂さんません。
2:37:47	として考慮するものというものに、
2:37:52	すいません、補足の何ページですか。
2:37:56	そう。
2:38:05	はい。
2:38:07	別紙 1 の 2 ページ。
2:38:10	衛藤。
2:38:12	高浜線行道からポスト高浜線現地では、江藤燃料集合体の構造材からの放射。
2:38:20	農耕社会を考慮しております。
2:38:25	規制庁トガサキですし、
2:38:28	そうすると一だからその燃料っていうのは、あれですよ、これ宣言 1 っていうところにはないですよ。
2:38:38	衛藤。
2:38:40	構造材分、構造材があるところで、
2:38:44	集合体だから、18 ページの、
2:38:48	図で見ると、ハンドルまでまでも含むんですか。
2:38:53	そうです。ハンドル部も含めます。
2:38:56	それでちょっとわかんないのが
2:39:00	ハンドル部のところが、線量高いんですよ。
2:39:03	燃料、実際燃料が入っているところより、
2:39:09	そこが何でなんですかってことなんですけど。
2:39:27	は、
2:39:28	すいません。
2:39:29	衛藤。
2:39:30	ご質問。
2:39:32	20 ページの 20 ページの線量が、
2:39:36	青で 25 マイクロシーベルトパーアワーの銅像 2 来てる部分というのは、左の方で言うと、ハンドル部のところですね燃料がない。
2:39:52	燃料有効部から外れて衛藤佐古の線源 1、
2:39:57	お示しているところと重なるはずでござい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:01	ですよね。で、実際には燃料というのはもっと下にあってそっちの方が線量低いんですよね。
2:40:07	衛藤。当然燃料有効部の放射線を考慮し、評価すると、当然燃料のところが、
2:40:15	その燃料の、
2:40:19	だから、中央体の燃料部分は入ってなくてその構造材だけってことなんですか。その通りでございます。はい。情報集約のモデル化の影響をせず、
2:40:30	そのためにですねわかり易い顕著に出るところを評価していくという
2:40:39	これ 1000 全体の線量はどうなるんですか。
2:40:45	全部分布ですけど、この上下方向の分布ってというのは、
2:40:50	全体は言いますと、桐谷説明資料の案。
2:40:55	まず、全体の分布で示してはいないんですけど
2:40:59	衛藤。
2:41:01	21 ページ 22 ページに、
2:41:05	100、
2:41:07	に対し、
2:41:10	20、
2:41:12	1 ページと 22 ページを見比べていただくと、
2:41:17	キャスクの周囲の方向、頭部の軸方向径方向の側部、底部の径方向事故、
2:41:25	というふうに江藤区分けしてそれぞれで一番高いところ、
2:41:30	ていうのを評価して、
2:41:34	結局
2:41:37	表面から 1 メートルの地点におきましては、
2:41:40	入口部の真ん中といいますか、355 分で、衛藤。
2:41:45	一番高い。
2:41:54	規制規制庁のトガサキです補足の 21 ページで言うと、
2:41:59	この
2:42:00	表面表面から 1 メートルの
2:42:04	γ線の構造材放射化っていうところに値するんですか。
2:42:09	そうです。このパワーポイント資料の 20 ページで示している図の青い線、
2:42:14	のところが、
2:42:18	そうですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:20	ただちょっと、これが衛藤先生の、
2:42:23	実はこの⑥番ってところが、衛藤。
2:42:26	今回の記録実験のモデル、江藤常務モデル株モデルと、二つのモデル。
2:42:32	評価してまして、中央部に関しましては、いずれのモデル化で、
2:42:38	高いところ、
2:42:39	の方の値を記載しておりますので、衛藤。
2:42:43	この青い線そのものが、
2:42:49	値にはならないはずです。
2:42:54	すいませんちょっとならないっていうのはだから、今、先ほど青井青井線 のものが評価結果
2:43:02	申請書に書かれている評価結果っておっしゃってましたよね。すいませ ん申請書に記載している結果には、下部モデル側の結果がありまして、
2:43:11	そちらを
2:43:14	そういう意味では青い線は、衛藤福田。
2:43:22	規制庁とかそれすいませんパブ
2:43:26	んと東部っていうのは条文モデルじゃないんですか。夫婦が業務モデル です。はい。
2:43:32	ホープ。
2:43:34	東部側部があれなんですか。上下部と上部があるんですか。
2:43:39	衛藤。
2:43:40	そうですね頭部から側部。
2:43:42	の中央にかけてが東部総務部モデルです頸部から側部の中央にかけ てが底部モデルで評価しておりまして、側部の中央に関しましては、衛 藤。
2:43:53	土方海宝常務から、業務部からモデル化。
2:43:57	いずれか。
2:44:03	だから東部の部分は
2:44:06	SERPの20ページの青い部分じゃないんですか。
2:44:10	東部の部分は、衛藤ご理解の通り、
2:44:13	東部の
2:44:16	高田高井辺りありますよね。
2:44:20	20、25 マイクロぐらいあるやつっていうのは、ここの衛藤。
2:44:27	補足説明資料の、別紙の8の中に、江藤記載して、
2:44:33	衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:35	こちらトータルが
2:44:39	表に示している値というのが、トータルで見て一番高いところというところなので、このピーク値等、ちょっと
2:44:46	ということになります。
2:44:48	補足説明資料別紙 8-6 ページの、
2:44:51	コメント、下にちょっと小さく書かれているところではございますが、
2:44:58	すいません、008 の何ページですか 88 の 6 ページの、
2:45:03	パワーポイント資料の 20 ページに示した図と同じような図を示しているんですけども、
2:45:10	このグラフのですね一番下のところに※印をつけてまして、
2:45:17	はい。
2:45:19	すいません笹井台ってのは何なんですか。
2:45:23	ここで最大の数値というのは、このグラフ上の分布を、この範囲で見た時のPTを、
2:45:31	行っております。
2:45:33	あれですか
2:45:37	パーセンターからさっきの藤東部の値がありましたよね、21 ページでしたっけ。
2:45:44	21 ページの
2:45:48	K方向のS案③ですから、
2:45:53	RIAってところじゃないってことなんです。そうですね最大値は。そうですね。構造材の放射化の最大値ってというのは、③じゃないところが最大値で、
2:46:06	それが 26. 幾つということですか。
2:46:08	そうですね
2:46:10	校舎の種類ごとに見ると、ピーク値はちょっとずれて、このIV3-4 のところからずれることはあります。
2:46:17	はい。だから、いずれにしても、だから、私が聞いたかったのは、この、だから、が、構造材だけで見ると、
2:46:29	今回、あれですよ。
2:46:33	簡素化したってこの系統化した部分っていうのが線量が高くなってますよね。
2:46:41	構造材だけで見ると、
2:46:58	だから、今回、
2:47:01	上部方針案というのを、提携同化したわけですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:08	評価モデル上、必要作り評価モデルじゃなくて、設計上、
2:47:16	その最初の方の説明にありましたけど、
2:47:19	流量を下げるために、
2:47:22	軽量化してるわけですね。
2:47:27	はい。上部格子枠にすることで、
2:47:31	でした。あれしてますよね。ちょうどそこに値するところの線量が高くなっ てますよね。
2:47:41	はい。
2:47:42	それはだからこの、こういう軽量化したことによって高くなっているのか。
2:47:48	いや、仮にこれが元のバスケット全部、現状、
2:47:55	次、52 型と同様に、勉強がコンパートメントのようになっていたと。
2:48:00	もう、
2:48:02	値がどうかというところは難しいんですけども線量当量率の分布の形 状としては、当然線源近いところの、
2:48:11	がピーク。
2:48:13	考えております
2:48:15	構造材公聴会で、そこがちょっと、どうしてなのかっていうのがちょっと わかんなかったんですけど構造材が多いからなんですか
2:48:28	上の方が、
2:48:33	線源の分布がこのようであるということがわからない。
2:48:39	だから、
2:48:42	21 の補足の 21 ページの、
2:48:46	構造材放射化ってところが、
2:48:50	書かれていますけど、この東部の経営報告です。速度より高くなっていま すよね。はい。
2:48:57	これは何でなんですかっていうふうに、
2:49:01	これは衛藤。
2:49:05	これ、
2:49:07	線源の位置が、後部径方向と見ている領域に、
2:49:14	そこにかかっ
2:49:15	事故後の高さがそこにかかっている。
2:49:18	だから、
2:49:20	碓井松枝構造材の放射化部分というのは、
2:49:25	ここの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:27	パワポの 20 ページの、この宣言 1 っていう上の部分しかないってこと なんですか。
2:49:33	そのようですがそのようにはい考慮しております。
2:49:37	2. 燃料有効部、その下に燃料有効部としてみるってことですか。
2:49:42	そうですね図 3 のロック。
2:49:45	うん。補足説明資料 22 ページに線源として考慮するもの、1 が概ね示 してあるんですけど。
2:49:56	衛藤。
2:49:57	関係しておりますのは図の 3-6 のっていう、
2:50:01	そこの左側の燃料上部構造材領域として、ガンマ線がここにある
2:50:07	ところに対し、
2:50:09	はい、わかりました。そうしたらですねちょっと 20 ページですごいちょっ と誤解、誤解を招くので、
2:50:18	是枝からこの、
2:50:20	いうような、軽量化したところが、線量が高くなってるように見えてしまっ てしまうんですよ。
2:50:27	そそうじゃなくて、
2:50:29	補足の 20 ページ、21 ページ見ると、
2:50:33	あれですよ燃料有効部と、とかを全部足せば、
2:50:40	合計でいうと、
2:50:42	北部のが高くなっているわけですよ。
2:50:47	そういう、その中のこれだっていうのがわかるように、その中の構造材 の部分だっていうのがわかるようにしてもらった方がいいんじゃないかと 思いますけどいかがですか。
2:51:02	衛藤。
2:51:04	ちょっと資料、先般ちょっと図、
2:51:07	パワーポイント資料からは、もしかしたら、
2:51:13	線量当量率全部を示す際に、全体のトータルのセガグループもあわせ て示すようにするようなイメージ。
2:51:23	あれば、誤解を招かないでしょ。
2:51:26	規制庁トガサキです。だから、どこの部分かっていうのがわからないん ですよ。だから、そのいきなり構造材放射化がませんとかって出てくるん ですけど。
2:51:36	この全体の園舎遮へい設計の評価の中で、この申請書に書かれている 評価の中で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:47	全体がどれで、そのうちのこの部分だっというのがわかるようになってた方がいいんじゃないかということです。
2:51:56	申請書の申請の評価との関係ですね。
2:52:07	なりますと、
2:52:10	はい。江藤それからちょっと申請書、
2:52:14	仮にまで見え、
2:52:16	ように、
2:52:18	ホアシ申請書とかいう補足ノダ 21 ページ 22 ページを、多分、
2:52:23	つけてもらえば、そのうちのここの、
2:52:27	21 ページのが 1 メートルのガンマ線の放射化のところなんですね。
2:52:33	さっきのだから数値が合わないことは、
2:52:36	補足の
2:52:40	別紙 8-6 の注釈をつけてもらえば、
2:52:43	わかると思うんで。
2:52:48	それを多分つければ、明確になると思いますけど。
2:52:52	はい。
2:52:53	衛藤。
2:52:56	くださいと。
2:52:57	この表 3-4 との流れです。
2:53:01	こちらの各評価点。
2:53:06	値の関係が見え、
2:53:08	から、
2:53:11	だからもう、この補足の 21 ページと 22 ページと、
2:53:18	をつけていただいて、それで 21 ページの表の表面から 1 メートルの
2:53:25	γ線の放射アノ構造材放射化っていうところに輪っかなんかをつけてもらって、
2:53:32	その中のアスタリスクで 23.9 って書いてあるところについては、
2:53:38	別紙 8-6 の、
2:53:41	注釈。
2:53:43	で最大は 26.32、この評価上なってますっていう。
2:53:48	のが、
2:53:49	わかればいいんじゃないですかということです。
2:53:52	そうします耐専セト承知しました。
2:53:56	わかりやすい。
2:54:00	はい。ちょっとその前提で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:05	アートの 12 ペイジー。
2:54:07	12 ページ。
2:54:10	ですね。
2:54:12	12 ページを見ても、見てもらいたいんですけど、これ下の方は、アルミニウム合金って書いてある。
2:54:21	サポートプレートっていうのがありますが、これはどこまでありますか。
2:54:31	はい日立造船の方は前段なんですけどわかりやすいように断面としますので、このサポートプレート上デットで、講師は、
2:54:41	ちょうど黄色の部分のところまでと。
2:54:44	アルミの風呂。
2:54:46	アルミニウム合金に関しては、
2:54:52	格子枠の下までの部分になります。ここは学校通学のところにはないんですよ。
2:54:58	はい。
2:55:00	このアルミニウム後期の部分というのは、茶系では考慮されてるんですか。
2:55:08	松枝です。考慮していますそちらは燃料有効、コンパートメントがある領域の
2:55:17	モデルと、
2:55:20	パワーポイント資料の 18 ページの図で、
2:55:25	そちらの、
2:55:28	燃料有効部と書かれていると、その
2:55:32	カワセ緑の領域の下のところ、
2:55:40	その下側の、はい。そう、かなりあれに、そうですね
2:55:45	アルミニウム合金と、
2:55:48	今度の部材藤飯塚下領域として、
2:55:58	はい。その規制庁のトガサキですね。ですから、今回の上部更新枠の外には、それはアルミニウムの車形態はないということですよ。
2:56:11	はい。存在しておりません。
2:56:13	だからそこがない。
2:56:16	ことによって線量が高くなってるってことはないんですか。
2:56:23	いや、
2:56:24	そうないことによって、
2:56:28	だから、この従来のタイプだタイプの場合は上までフィーリングがあったんじゃないですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:34	江藤断面で見たときに、
2:56:37	どうかという、
2:56:41	断面もそうですけど、
2:56:43	実際に、
2:56:45	空間になってるんじゃないんですか上部格子枠の、
2:56:50	例えば 19 ページのこのだんだんってますけど、
2:56:56	10 ページの右上の図のところには、牛田の部分はある意味 2 入ってますけど、
2:57:03	この所、黄色のところは空間になってるんじゃないんですか。
2:57:08	はい。
2:57:09	はい。だからそれが、従来のタイプのものもそうだったんですかそれとも、従来のタイプのは、
2:57:17	この上部工小学部の分相当部分のところにも、ある意味もあったんですか。
2:57:23	衛藤。質疑 52 型に関しましては一番上が一つ、
2:57:35	ただ少なくなってるわけですね支社形態としては、
2:57:41	まず、
2:57:42	完全に部材の、
2:57:44	用途としましてはそれに、それぞれの責任をしたものということになります、確かにその空間があって、その形状的に、
2:57:54	その空間を抜けてくるといいますかそういったところが、
2:57:59	どうなるかというところ。
2:58:02	は、
2:58:03	示し切れていない、今までのところ説明で設置していないとは思いません。
2:58:09	低圧だから、生鮮量も、だから、ある意味があった状態よりは高くなると思うんですけど、
2:58:18	それでも、基準は満たしてきてるから問題ないと思うんですけど、
2:58:23	そういう一応、構造材の方法シャー下の部分だけを見ると、ちょうどその場所が一番高くなっているように見えるので、
2:58:38	企業っていうのが、
2:58:40	やっぱり、今回の構造によって少し影響出てくんじゃないかと思うんですけど、それでちょっと確認したいのは、今、密度を全部均一化させてますけど、
2:58:53	コストストリーミングとかそういう表評価ってのは必要ないんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:00	厳密に、そのようなものを評価しても大丈夫であることを示さないといけない。
2:59:10	小沼。
2:59:20	例えば、この図で言うと、19 ページの図、図で、
2:59:28	明日、流量が下げてるんですけど右下の図で、これが全部
2:59:35	ドーナツ状に均一になるような評価をしていると思うんですけど、
2:59:44	厳密に言うと、なんかその薄いところが、
2:59:48	碓井っていうのか、何か 7 年のところとかの薄層ですよ
2:59:53	この角のところ。
2:59:56	等ですね
2:59:59	真木局長、かなり使いところとかですね特に表面においては厳密に、
3:00:09	言うと多少ってこうこう線量当量率として見たときに、かなり
3:00:16	それで今までの設計、
3:00:20	今、
3:00:21	パケット単体で、遮へい体として見るということがなく、基本的にはなくて衛藤。
3:00:28	その外側にどう、中性子遮へい材っていった、衛藤生命が厚い遮へい材が外にある体系でして、
3:00:35	衛藤。
3:00:39	そこを加えるとそれほどこのバスケットの
3:00:43	構造というのが、
3:00:47	あまり影響しないだろうという判断は、
3:00:49	言い方は、
3:00:54	規制庁トガサキサノ別紙の 2-10 ページを、
3:01:00	見てもらいたいんですけど。
3:01:05	細々と資料説明資料の
3:01:10	これ、これはちゃんと陸風してるのも、みんな
3:01:16	一面 1mmのところ、
3:01:19	ちゃんと
3:01:21	あと、あれですね、その線量以下になるように、
3:01:26	接アノ評価されてますけどこれはだから、
3:01:29	胴体ん胴体とか真ん中の部分なんじゃないですか。そうですか。これ上部格子枠の部分でこういう評価というのはやってるんですけど、実際そうせえと業務課契約のところでは、やっていないです。
3:01:42	こちらは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:45	どう、一番厳しくなる同の、中央部のコイケは
3:01:50	まず、
3:01:52	所。
3:01:56	で、す。そうするとだからさっき 21 ページのところで、
3:02:02	また、確か 2a動が一番あれですよ。1、表面から 1メートルだと 82.7 で一番高いんですけど、
3:02:12	このだから頭部の径方向というのが、
3:02:16	こういう、
3:02:18	ちょっと局所的にその線量が高いところで、
3:02:23	大きく影響するところから、ないってことを説明してもらえばいいと思うん ですけど。
3:02:30	何か定性的でもいいんですけど何か説明できますか。
3:02:59	谷津先生
3:03:01	基本的にはんない、ないです衛藤。
3:03:05	特に 1メーター離れ。
3:03:11	だから、別紙 2 の授業を見てもらってもやっぱりでこぼこに影響ってある わけですよ。
3:03:18	はい。
3:03:22	だからでもあるはずなんですよそ上部、上部だって、
3:03:28	だけどこの線基準値は超えないっていう。
3:03:33	そういう説明が必要だと思うんですけど。
3:03:58	松崎です。すいません。衛藤。ちょっと別紙 2 の中の図の分布ですねえ と。
3:04:05	こちらにつきましては逆にアルミも、が衛藤密に密にあるというか、こう いう形状で存在していると。
3:04:15	いうところをモデル化すると、当然
3:04:18	支社経済として、渥美が、
3:04:21	結構、かなり不均一になってくると。
3:04:25	いうところが、衛藤小の分布に、
3:04:28	出てくる
3:04:30	ところ。
3:04:31	逆にその上部格子枠、
3:04:33	に関しましては、基本的に
3:04:38	全周に同じような厚さで衛藤存在していることになるのででこぼことして はジェイエスピーの中よりも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:48	のほど出てこないはず
3:04:51	いうところがございます。
3:04:56	規制庁のトガサキです。あれですか構造材構造材から出てくるガンマ線だけが関係してて、それを遮へいする部分というのは、ないから、
3:05:10	空間しかないんで、
3:05:12	影響しないってことですか。
3:05:19	はい。
3:05:24	はい、わかりましたじゃあ。
3:05:27	はい。だからこういうでこぼこすることはないってことなんですかね、もうそのまま。
3:05:33	そのせいγ線はその遮へいされなくて、この銅の方に行くともみんな均一になってくるんで、
3:05:41	でこぼこしない、清線量分布になるっていう、
3:05:45	そういう理解でいいんですかね。
3:05:50	はい。基本的にはそのように考えられます。
3:05:53	はい、わかりました。
3:05:56	私からは以上です。
3:06:02	すいません。規制庁工程ですけども、
3:06:07	そうですね、ちょっと設計の根本のところをちょっと確認したいんですけども、10 ページのところ、
3:06:17	当図で示していただいている、その燃料の軸方向のいろんなものを、
3:06:25	ユーコーブとかいろいろ書かれてると、バスケット
3:06:30	頭の中のこの燃料の位置っていうのが書かれてて、一応この図を見る限りでは、ユーコーブは全部その主要な部分にかぶってるということは理解します。
3:06:44	ただですね
3:06:47	ちょっと気になるのは、先ほどとちょっと矛盾したことを言うかもしれませんが、
3:06:54	落下したときに、
3:06:56	例えばですね、今ちょっと輸送の方の話なんですけども、
3:07:03	ファンドの部分が、座屈してね、ビチャとこうつぶれて、
3:07:08	そうなった場合でも、ここで上部構造体のところの下に書かれてる、この
3:07:16	数字ですね、200 何とかって数字なんですけども、
3:07:20	これが必ずこの瀬、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:24	変形したとしても、要は燃料有効部のところは、必ずこの領域にあるというような確認はされてますか。
3:07:34	今答える必要は多分これ長相談であまりないと思うんですけども、将来的なことでここはどうなるのとかっていう話は、出てくると思うので、今、ご確認されているようであればそれをちょっと教えていただきたいと思います。
3:07:54	末吉です。衛藤そうですね相当このような考慮はしております。
3:08:01	だから、あ、すいません規制庁久世ですけども、要は、そのような事象のがあった場合でも、上部の上部タイププレートのところのハンドルの部分が、これ座屈するなり品も上がったりするんですけども、そうなったとしても、
3:08:16	必ずこの領域にはいるという見通しは立ってるという考え方でよろしいですか。はい。その通りでござい
3:08:24	はい、わかりました。じゃあ詳細は輸送の時に確認させていただきます。
3:08:41	規制庁松野です。
3:08:44	では指摘以降に、
3:08:51	ちょっと時間の関係上、
3:08:54	ちょっとし、残りの、
3:08:57	と。
3:09:01	については、
3:09:03	ちょっとこちらからちょっと、
3:09:12	ちょっと私から喜納
3:09:19	これ指摘が、
3:09:24	燃料の基準値に対して解析とか裕度が小さいってところでその保守性と、
3:09:34	ご指摘は、確か。
3:09:36	今審査中の。
3:09:38	三菱トランスミイクリアでは、
3:09:48	該当。
3:09:50	定量的に
3:09:55	合わせ、
3:09:59	将来どの程度保守的なのかってところまで、
3:10:02	サイトウで、
3:10:03	示していただく。
3:10:05	その点はちょっと全厚

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:07	思います。
3:10:38	等、
3:10:39	2点目が、指摘事項の発信。
3:10:45	こうで、
3:10:48	表面線量率、
3:11:05	やったら、
3:11:09	26
3:11:13	それ。
3:11:14	ねえ、あつさを見ると、確かに、
3:11:22	その横に書かれてあるこの数値っていうのは何か、
3:11:30	江藤、これは具体的にモデル上この厚さにしているというところ。
3:11:44	なくても
3:11:49	なるべく、
3:12:00	からは以上ですけど、
3:12:08	すいません、規制庁の方ですけども、これも今、他の事業者さんにも聞いている話なんですけども、
3:12:18	当BWRどうかっていうところあるんですけども、
3:12:24	燃料被覆管のね、いわゆる長期健全性の話にも繋がると思うんですけども、一応温度としては、
3:12:36	ここに記載されている通りの
3:12:44	温度があるということで理解するんですけども、併せて手法効力をね、つけておいていただきたいと思います。幾つぐらいになるのかというところですね。
3:12:53	ていうのはせっかく、
3:12:56	というかここでやっぱり
3:13:00	要は、ここの温度、かつ、周方向力幾つっていうのが基準になりますので、最終的な成立性を確認するという上ではね、両方の数字を、
3:13:09	見た上で、こうなるんだねっていうことが確認が必要だからと考えております。
3:13:16	そうですね。それ、
3:13:19	と。
3:13:22	これも、
3:13:23	ここの審査というか、
3:13:30	まして貯油槽が出てきたり、あちらの方の
3:13:37	発電所における審査、横尾金城という

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:43	26 ページ。
3:13:45	26 ページで、
3:13:48	緩衝体下部の丹坂を下げたというところで、この 3 番からね。
3:13:56	3 番から丁寧までどれぐらい距離あるんですかねこれ。
3:14:01	ちなみに、52Pと、B52 頭、B69 でどれぐらい違うんですかね。わかります。
3:14:18	自動占有、
3:14:22	覚えてないところもあるんですが、
3:14:49	磯先生です。当間変化した長さとして、江藤 25 から 30 ぐらいで見に行った。
3:15:01	と、
3:15:05	52 が、
3:15:07	B50 に対してどれぐらい丁寧に近づいてるんですか。
3:15:16	造船のヒグチでございますが、ちょっと明確なことは申し上げられない。ちょっと今すぐはわからないんですけれども、いいですか。P52 の方が、は、
3:15:32	そんなこともっと深いでしょう。
3:15:36	こういう
3:15:39	はい。
3:15:41	はい。
3:15:42	井戸。
3:15:45	はい。
3:15:49	おそらく、
3:15:54	はい。
3:15:59	はい、わかりました。
3:16:04	いや大体、ということと、何期にしてるかっていうことでね、将来的に、横尾鬼頭ということで、貯蔵用緩衝体が装着されたり何だ、
3:16:20	輸送の時も緩衝体がつくというところになると思うんですけども、この箱を見なさいと、どうしても
3:16:28	なにがし水平落下とかね、そういう同じような類の
3:16:34	同じような類の、要は外的事象を受けたときに、緩衝体抜けやすいって話がありますので、その辺でしっかり、その辺も成立すると。
3:16:45	外れないということも含めて今後、評価していただきたいと思いますので、その辺ちょっと留意していただければと思います。以上です。
3:16:56	ヒテツゾウセイの樋口でございます。承知いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:07	木曾。
3:17:08	規制庁のトガサキです
3:17:11	25 ページのところなんですけど、あと、26 ページの、
3:17:17	中性子減の強度が、
3:17:22	69 型の方が小さくなっているんですけどそれは何でか、なんでですか。
3:17:30	清宗先生です。江藤。一番の違いは燃焼度の最大値が、
3:17:35	低いと。
3:17:39	普通燃料、
3:17:40	の方の燃焼度最高燃焼度はB52 番が、
3:17:47	に対して今回 48、B69 は最高で、
3:17:59	あ、すみません 52Y 幾つ。
3:18:01	幾つですか。
3:18:03	5、55 ですか。
3:18:05	15 中です。
3:18:07	50、50 ですか。
3:18:10	わかりました。以上です。
3:18:17	違う。
3:18:19	規制庁松野です。
3:18:22	では、こちらカラー
3:18:26	異常と、
3:18:28	何か全体を通して、鉄道線。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。